

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 9 月		工事概要	施工延長 L=144.0m	
契約番号	2026000750			排水路整備工事	
路線名	市道 北新田4号線			・排水構造物工 L=144.0m	
工事等名	浸水対策事業（防災・減災） 排水路整備（北新田地区2工区その3）工事			・集水樹工 N=2.0基	
				・舗装工 A=71.2m ²	
工事等場所	南相馬市 原町区北新田字本町 地内		・区画線工 L=89.0m		
			・構造物取壊し工 N=1.0式		
総工事費	当初請負		仕様概要	1. 設計図書及び仕様書（共通・特記）	
	当初設計			によること。	
	変更請負			2. 詳細は監督員の指示によること。	
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2026000750)		
浸水対策事業(防災・減災) 排水路整備(北新田地区2工区その3)工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
道路改良		
排水構造物工		
作業土工		
側溝工		
集水枡工		
コンクリート構造物工		
舗装工		
アスファルト舗装工		
区画線工		
区画線工		
構造物撤去工		
作業土工		
構造物取壊し工		
舗装版取壊し工		
安全工		
安全工		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

浸水対策事業(防災・減災)
排水路整備(北新田地区2工区その3)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ☒ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

位置図

南相馬市原町区管内図

工事箇所
(北新田字本町地内)



凡	例

新日本航測株式会社調製

原町市

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	D1 南相馬市 実施設計書 当初 1111111111 0 1 実施単価 71 S（相双1）地区 00-08.09.01(0) 1 土木工事 1111111111当初浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（北新田地区2工区その3）工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 復興係数（共通仮設費） 復興係数（現場管理費）	40 04 道路改良 00 冬期割増なし 01 金銭的保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 03 交替制（月単位） 01 補正あり 1. 3 01 補正あり 1. 1		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計 1
	3	作業日数集計 2
	4	作業日数集計 3
	5	作業日数集計 4
	6	作業日数集計 5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
道路改良					Y100H002672
	1	式			
排水構造物工					Y210F001848
	1	式			
作業土工					Y320B000046
	1	式			
床掘り 土砂、1.0m≦W<2.0m					Y440R001091
	26.5	m3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満					SPA161 00
	1.0	m3			施工 第0 -0001号表
床掘り 土砂、小規模					Y4020
	43.4	m3			
床掘り 土砂 小規模					SPA161 00
	1.0	m3			施工 第0 -0002号表
床掘り 土砂、現場制約あり					Y4020
	15.4	m3			
床掘り 土砂 現場制約あり					SPA161 00
	1.0	m3			施工 第0 -0003号表
埋戻し W<1.0m					Y440S003285
	22.8	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m未満					SPA181 00
	1.0	m3			施工 第0 -0004号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 小規模	6.7	m3			Y4020
埋戻し 小規模 土砂	1.0	m3			SPA181 00 施工 第0 -0005号表
埋戻し 現場制約あり	4.9	m3			Y4020
埋戻し 現場制約あり 土砂	1.0	m3			SPA181 00 施工 第0 -0006号表
路体(築堤)盛土 Ⅲ<2.5m	1.3	m3			Y4020
路体(築堤)盛土 2.5m未満	1.0	m3			SPA113 00 施工 第0 -0007号表
人力運搬 20m以下	8.5	m3			Y4020
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 20m以下	1.0	m3			SPA211 00 施工 第0 -0008号表
土砂等運搬 原町ストック	47.4	m3			Y4232
土砂等運搬 標準 バックホ	1.0	m3			SPA105 00 施工 第0 -0009号表
整地 残土受入れ地での処理	1.0	m3			SPA109 00 施工 第0 -0010号表
側溝工	1	式			Y3326

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャストU型側溝 (Ⅲ-A-i-300A)					Y4196
	49.3	m			
排水構造物工 (U型側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無					S7140 00
	1.0	m			施工 第0 -0011号表
U型側溝 J I S 3 種落蓋型 Ⅲ A i 3 0 0 A a300×c300×L2000 419kg/本					T2000 00
	0.5	本			
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40					T8454 00
	0.056	m3			
プレキャストU型側溝 (Ⅲ-A-g-40)					Y4196
	55.6	m			
排水構造物工 (U型側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無					S7140 00
	1.0	m			施工 第0 -0011号表
U型排水溝 (ベンチフリューム) Ⅲ A g 4 0 A400×H260 110kg/m					T2320 00
	1.0	m			
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40					T8454 00
	0.060	m3			
自由勾配側溝 (Ⅺ-B-a-400)					Y4020
	8.0	m			
排水構造物工 (自由勾配側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない					S7141 00
	1.0	m			施工 第0 -0012号表
勾配調整型側溝B (車道) X I B a 4 0 0 A300×C400×L2000 435kg/本					T2662 00
	0.5	本			
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40					T8454 00
	0.051	m3			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート ② 18-8-40-60%	0.0075	m3			T8600 00
自由勾配側溝 (XI-B-a-500)	22.0	m			Y4020
排水構造物工(自由勾配側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない	1.0	m			S7141 00 施工 第0 -0012号表
勾配調整型側溝B(車道) X I B a 5 0 0 A300×C500×L2000 547kg/本	0.5	本			T2664 00
再生骨材(骨材) クラッシュラン RC-40	0.052	m3			T8454 00
生コンクリート ② 18-8-40-60%	0.0080	m3			T8600 00
自由勾配側溝 (XI-B-a-600)	9.1	m			Y4020
排水構造物工(自由勾配側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない	1.0	m			S7141 00 施工 第0 -0012号表
勾配調整型側溝B(車道) X I B a 6 0 0 A300×C600×L2000 606kg/本	0.5	本			T2666 00
再生骨材(骨材) クラッシュラン RC-40	0.052	m3			T8454 00
生コンクリート ② 18-8-40-60%	0.0080	m3			T8600 00
勾配調整コンクリート	1.21	m3			Y4020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	1.0	m3			SPB401 00 施工 第0 -0013号表
側溝蓋 (VII-C-g-300)	158.8	枚			Y4020
排水構造物工 (蓋版) (材別) 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工 第0 -0014号表
U型側溝蓋 (J I S 3種落蓋型) VIC g 3 0 0 L 5 0 0 4 5kg/枚	1.0	枚			T4000 00
側溝蓋 (VII-C-a-300S)	9.0	枚			Y4020
排水構造物工 (蓋版) (材別) 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工 第0 -0014号表
グレーチング落蓋型側溝用かさ上げT-25 VIC a 3 0 0 S 3 5. 7kg/枚	1.0	m			T4602 00
集水樹工	1	式			Y3020
プレキャスト集水樹 (IX-A-a-600A、H-700)	1.0	箇所			Y4020
プレキャスト集水樹 据付 200kgを超え400kg以下	1.0	基			SPA601 00 施工 第0 -0015号表
集水ます IXA a 6 0 0 A B600×L600×H700 3 8 1kg	1.0	個			T3740 00
コンクリート 小型構造物 人力打設	0.04	m3			SPB401 00 施工 第0 -0016号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水柵用グレーチング蓋 T-25 IXAb600A 46.9kg	1.0	組			T4764 00
プレキャスト集水柵 (IX-A-a-600B、H=700)	1.0	箇所			Y4020
プレキャスト集水柵 据付 400kgを超え600kg以下	1.0	基			SPA601 00 施工 第0 -0017号表
集水ます IXAa600B B600×L800×H700 424kg	1.0	個			T3760 00
コンクリート 小型構造物 人力打設	0.05	m3			SPB401 00 施工 第0 -0016号表
縞鋼板 (みぞ寸法600×800)	1.0	枚			Y4020
縞鋼板 t=4.5mm	1.0	枚			V0002 00 施工 第0 -0018号表
コンクリート構造物工	1	式			Y3020
小口止 BI300×H680	1.0	箇所			Y4020
コンクリート 小型構造物 人力打設	0.15	m3			SPB401 00 施工 第0 -0019号表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.6	m2			SPB431 00 施工 第0 -0020号表
シールコンクリート t=100mm	23.1	m			Y4020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 人力打設					SPB401 00
	0.05	m3			施工 第0 -0019号表
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40					SPA391 00
	0.5	m2			施工 第0 -0021号表
舗装工					Y2020
	1	式			
アスファルト舗装工					Y3020
	1	式			
表層					Y4020
	71.2	m2			
表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚50mm					SPD023 00
	1.0	m2			施工 第0 -0022号表
上層路盤					Y4020
	61.0	m2			
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚150mm					SPD009 00
	1.0	m2			施工 第0 -0023号表
下層路盤					Y4020
	61.0	m2			
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚200mm 1層施工					SPD005 00
	1.0	m2			施工 第0 -0024号表
区画線工					Y2020
	1.0	式			
区画線工					Y3020
	1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶融式区画線					Y4020
	89.0	m			
区画線工（溶融式）（材料含） 実線15cm					S7301 00
	1.0	m			施工 第0 -0025号表
構造物撤去工					Y2020
	1	式			
作業土工					Y3020
	1.0	式			
床掘り 土砂、小規模					Y4020
	2.4	m3			
床掘り 土砂 小規模					SPA161 00
	1	m3			施工 第0 -0002号表
埋戻し 小規模					Y4020
	0.5	m3			
埋戻し 小規模 土砂					SPA181 00
	1	m3			施工 第0 -0005号表
構造物取壊し工					Y3020
	1.0	式			
コンクリート構造物取壊し（有筋）					Y4020
	5.6	m3			
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物					S7307 00
	1.0	m3			施工 第0 -0026号表
殻運搬処理 コンクリート殻（有筋）					Y4020
	5.6	m3			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート殻運搬（有筋） コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし 機械積込	1.0	m3			SPA961 00 施工 第0 -0027号表
処分費 コンクリート殻（有筋）	14.0	t			Y4020
調整データ	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
コンクリート殻処分費（有筋） 【施工P用】	1.0	t			T9499 00
舗装版取壊し工	1.0	式			Y3020
舗装切断	90.9	m			Y4020
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1.0	m			SPD321 00 施工 第0 -0028号表
舗装版取壊し	69.4	m2			Y4020
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1.0	m2			SPD311 00 施工 第0 -0029号表
殻運搬処理	3.5	m3			Y4020
アスファルト殻運搬 舗装版破碎 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚15cm以下）	1.0	m3			SPA961 00 施工 第0 -0030号表
汚泥運搬	0.7	m3			Y4020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 運搬距離 8.6km	1.0	m3			S5200 00 施工 第0 -0031号表
処分費 アスファルト殻	1.0	式			Y4020
調整データ	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
アスファルト殻処分費 【施工P用】	8.2	t			T8498 00
処分費 汚泥	1.0	式			Y4020
調整データ	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
汚泥処分費 【施工P用】	1.0	t			T84981 00
安全工	1.0	式			Y2020
安全工	1.0	式			Y3020
交通誘導員	32.0	人			Y4020
交通誘導警備員B [0.907]	1.0	人			R0900 00
直接工事費					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全費						Z0008
			式			
工事名標示板費						Y2YK2007379
		1	式			
工事名標示板加算額						S9990 00
		2	基			施工 第0 -0033号表
共通仮設費 (率)						Z0009
			式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
			式			
工事原価						
一般管理費						
			式			
工事価格						
工事価格 (まるめ)						
消費税等相当額						
			式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事費計						

施工パッケージ内訳表

頁0-0014

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 290.57 機械構成比： 平均施工幅1m以上2m未満 19.72% 労務構成比： 66.35% 材料構成比： 13.93% 市場単価構成比：			施工 第0 -0001号表 1 m3 0.00%	
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 K0049		19.72%	バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 TPK0049	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		66.35%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		13.93%	軽油 1. 2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=2 平均施工幅1m以上2m未満 C=1 土留なし D=1 障害なし G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ－1－③－4				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0015

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 2,247.4 機械構成比：	小規模 18.73%	労務構成比： 74.16%	施工 第0 -0002号表 1 材料構成比： 7.11% 市場単価構成比：	m3 0.00%
MA204 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次	18.73%		TPMA204 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次	
R0120 運転手（特殊） [0.788]	40.26%		TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]	33.90%		TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）	7.11%		TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=5 上記以外(小規模) E=1 全ての費用 G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-4				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0016

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 10,668 機械構成比： 現場制約あり 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0003号表 1 m3	
普通作業員 [0.842] R0030		100.00%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=6 現場制約あり G=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0017

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 最大埋戻幅1m未満 標準単価： 3,339.7 機械構成比： 8.95% 労務構成比： 87.50% 材料構成比： 3.55% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0004号表 1 m3	
MA23A バックホウ（クローラ型） [後方超小旋回] 超低・排ガス2014		8.37%	TPMA23A バックホウ（クローラ型） [後方超小旋回] 超低・排ガス2014	
K2620 タンバ及びランマ 60～80kg		0.58%	TPK2620 タンバ賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		53.26%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		25.42%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		8.82%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.72%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=4 最大埋戻幅1m未満 E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0018

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 小規模 標準単価： 4,063.8 機械構成比： 8.87% 労務構成比： 87.15% 材料構成比： 3.98% 市場単価構成比： 0.00%	土砂		施工 第0 -0005号表 1 m3	
MA204 バックホウ（クローラ型） [後方超小旋回] 排ガス2次		8.27%	TPMA204 バックホウ（クローラ型） [後方超小旋回] 排ガス2次	
MC271 タンバ及びランマ [ランマ] 質量 60～80kg		0.60%	TPMC271 ランマ	
R0030 普通作業員 [0.842]		50.03%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.35%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		17.77%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		3.14%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.84%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=5 上記以外(小規模) B=1 土砂 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-12				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0019

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 現場制約あり 標準単価： 7,754.2 機械構成比： 0.25% 労務構成比： 99.40% 材料構成比： 0.35% 市場単価構成比： 0.00%	土砂		施工 第0 -0006号表 1 m3	
K2620 タンバ及びランマ 60～80kg		0.25%	TPK2620 タンバ賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		88.46%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		10.94%	TPR0020 特殊作業員	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.35%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=6 現場制約あり B=1 土砂 C=1 締固めあり E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0020

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
路体（築堤）盛土 SPA113 2.5m未満 標準単価： 6,722.7 機械構成比： 0.66% 労務構成比： 99.11% 材料構成比： 0.23% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0007号表 1	m3
K2602 振動ローラ（舗装用・ハンドガイド式） 0.8－1.1t		0.66%	TPK2602 振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		90.70%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		8.41%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.23%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 2.5m未満 D=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ－1－②－2.2				

施工パッケージ内訳表

頁0-0021

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
人力運搬（積込み～運搬～取卸し） SPA211 20m以下 標準単価： 5,080 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0008号表 1	m3
普通作業員 [0.842] R0030		100.00%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 20m以下 B=1 土木工事標準積算基準 II－1－④－2				

施工パッケージ内訳表

頁0-0022

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価： 1,400.5 機械構成比： 44.67% 労務構成比： 40.44% 材料構成比： 14.89% 市場単価構成比： 0.00%	パッケージ 44.67%		施工 第0 -0009号表 1	m3
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.67%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		40.44%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.89%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 標準 B=3 パッケージ C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D=1 DID区間なし E=14 6.0km以下				
F=1 土木工事標準積算基準 II-1-②-13				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0023

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
整地 SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価： 127.07 機械構成比： 22.45% 労務構成比： 52.33% 材料構成比： 25.22% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0010号表 1	m3
バックホウ [クローラ型] 山積0. 8m3 (平積0. 6m3) K9203		22.45%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		52.33%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		25.22%	軽油 1. 2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 残土受入れ地での処理 D=1 土木工事標準積算基準 II-1-②-20				

施 工 内 訳 表

頁0-0024

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1	m			施工 第0 -0011号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約 無 週休二日交替制（月単位） 補正係数1.02	1.000	m			TDG03
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 L=2000mm 1000kg/個以下 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 側溝長さ標準 E=1 施工場所による補正無し					
F=1 基礎碎石を使用する(又は再利用撤去作業) G=2 再利用撤去無 H=1 土木工事標準積算基準 VI- 1 -⑥- 2					

排水構造物工（自由勾配側溝）（材別） S7141 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない	1	m			施工 第0 -0012号表
自由勾配側溝 機・労 昼間単価 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約 無 週休二日交替制（月単位） 補正係数1.02	1.000	m			TDG31
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 L=2000mm 1000kg/個以下 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 基礎碎石を使用する(又は再利用撤去作業) E=1 土木工事標準積算基準 VI- 1 -⑥- 2					

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0025

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 30,615 機械構成比： 0.00%	人力打設 0.00%	28.68%	施工 第0 -0013号表 1 材料構成比： 71.32%	m3 0.00%
R0030 普通作業員 [0.842]		12.85%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		7.30%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		6.58%	TPR0010 土木一般世話役	
T8600 生コンクリート ② 18-8-40-60%		71.32%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55%	
*** 単位当たり ***				
A=1 無筋・鉄筋構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=2 現場内小運搬なし K=1 普通				
L=13 18-8-40-60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-4-①-4				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0026

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0027

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
プレキャスト集水桝 SPA601 据付 標準単価： 6,206.8 機械構成比： 200kgを超え400kg以下 12.16% 労務構成比： 84.54% 材料構成比： 3.30% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0015号表 1 基	
K9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付] 1.7 t 吊 山積0. 2 8 m3 (平積0. 2 m3)		9.81%	TPK9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ付] 賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		37.29%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.842]		16.36%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		9.98%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0.780]		4.55%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー (ﾊﾄﾛｰﾙ給油)		2.66%	TPT0250 軽油 1. 2号ﾊﾄﾛｰﾙ給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 据付 B=3 200kgを超え400kg以下 C=1 基礎砕石あり D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ－2－⑩－1 6				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価：機械構成比：労務構成比：材料構成比：市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価：36,756 機械構成比：0.00% 労務構成比：41.15% 材料構成比：58.85% 市場単価構成比：0.00%	人力打設 0.00%		施工 第0 -0016号表 1	m3
普通作業員 [0.842] R0030		22.25%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		9.19%	土木一般世話役 TPR0010	
特殊作業員 [0.780] R0020		7.69%	特殊作業員 TPR0020	
生コンクリート ② 18-8-40-60% T8600		58.85%	生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55% TPTC618	
*** 単位当たり ***				
A=2 小型構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=2 現場内小運搬なし K=1 普通				
L=13 18-8-40-60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-4-①-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0029

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
プレキャスト集水桝 SPA601 据付 標準単価： 7,536.1 機械構成比： 400kgを超え600kg以下 10.00% 労務構成比： 87.29% 材料構成比： 2.71% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0017号表 1 基	
K9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付] 1.7 t 吊 山積0. 2 8 m3 (平積0. 2 m3)		8.07%	TPK9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ付] 賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		30.73%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.842]		23.59%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		12.34%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0.780]		3.75%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー (ﾊﾄﾛｰﾙ給油)		2.19%	TPT0250 軽油 1. 2号 ﾊﾄﾛｰﾙ給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 据付 B=4 400kgを超え600kg以下 C=1 基礎砕石あり D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ－2－⑩－1 6				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0030

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
縞鋼板 V0002 t=4.5mm	1	枚			施工 第0 -0018号表 特単単価適用日：08年08月01日
縞鋼板 板厚：4. 5mm（無規格）	0.023	t			T0411
等辺山形鋼 4mm×50mm×50mm	0.008	t			T0350
鉄筋用小形丸鋼 SR235 φ13mm	0.001	t			T0303
集水桝用縞鋼板蓋加工費 （サビ止塗装1回）材料費含まず	32.7	kg			T8920
*** 単位当たり ***	1	枚			

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0031

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価： 40,190 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 46.18% 材料構成比： 53.82% 市場単価構成比： 0.00%	人力打設 0.00%		施工 第0 -0019号表 1	m3
普通作業員 [0.842] R0030		28.56%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		8.40%	土木一般世話役 TPR0010	
特殊作業員 [0.780] R0020		7.04%	特殊作業員 TPR0020	
生コンクリート ② T8600 18-8-40-60%		53.82%	生コンクリート TPTC618 24-12-25 高炉 W/C 55%	
*** 単位当たり ***				
A=2 小型構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=1 現場内小運搬あり K=2 高炉				
L=13 18-8-40-60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0032

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
型枠 SPB431 一般型枠 標準単価： 9,147.6 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	小型構造物		施工 第0 -0020号表 1	m2
型わく工 [0.882] R0260		44.28%	型わく工 TPR0260	
普通作業員 [0.842] R0030		30.82%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		11.86%	土木一般世話役 TPR0010	
*** 単位当たり ***				
A=1 一般型枠 B=2 小型構造物 C=1 土木工事標準積算基準 II－4－②－2				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0033

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
基礎碎石 SPA391 7.5cmを超え12.5cm以下 標準単価： 1,263.6 機械構成比：	再生クラッシャラン 5.33%	RC-40 78.32%	施工 第0 -0021号表 1 材料構成比： 16.35%	m2 0.00%
K9203 バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3)		5.30%	TPK9203 バックホウ [クローラ型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		37.64%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		15.90%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		14.75%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		9.49%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材 (骨材) クラッシャラン RC-40		11.39%	TPT8454 再生クラッシャラン RC-40	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		4.93%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 C=2 D=1 E=1	7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャラン RC-40 全ての費用 土木工事標準積算基準 II-2-②-2			

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0034

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,891.1 機械構成比： 0.43% 労務構成比： 44.34% 材料構成比： 55.23% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚50mm		施工 第0 -0022号表 1	m2
MC246 振動ローラ [舗装用・ハンドガイド式]		0.24%	TPMC246 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	
MC274 振動コンパクタ [前進型]		0.13%	TPMC274 振動コンパクタ [前進型]	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.57%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.842]		14.05%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		4.28%	TPR0010 土木一般世話役	
T8415 再生材アスファルト合材 密粒度 (20) 最大粒径20mm		50.52%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度 (20)	
T0211 アスファルト乳剤 PK-3プライム用、PK-4タック用		4.48%	TPT0211 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.17%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.03%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0035

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

111111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0036

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
上層路盤（車道・路肩部） SPD009 粒度調整碎石 標準単価： 637.83 機械構成比： 11.57% 労務構成比： 37.08% 材料構成比： 51.35% 市場単価構成比： 0.00%	全仕上り厚150mm		施工 第0 -0023号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		7.99%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		1.00%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.99%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		16.31%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]		5.97%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		5.32%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		4.37%	TPR0010 土木一般世話役	
T8344 粒度調整碎石 M-40 40～0mm		47.84%	TPT8345 再生粒度調整碎石 RM-40	
T0250 軽油 ミニローラー（パトロール給油）		3.03%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0037

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

111111111111

市 馬 相 南

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0038

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（車道・路肩部） SPD005 全仕上り厚200mm 標準単価： 1,289.3 機械構成比： 5.72% 労務構成比： 18.33% 材料構成比： 75.95% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0024号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		3.95%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		0.49%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.49%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		8.06%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]		2.95%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.63%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		2.16%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材（骨材）クラッシュラン RC-40		74.21%	TPT8321 クラッシュラン C-40	
T0250 軽油 ミニローラー（パトロール給油）		1.50%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0039

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

111111111111

市 馬 相 南

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0040

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線工（溶融式）（材料含） S7301 実線15cm	1,000	m			施工 第0 -0025号表
区画線設置工 昼間単価 機・労 〔溶融式(手動)〕 実線 15cm 時間的制約 無 豪雪補正 無 週休二日交替制（月単位） 補正係数1.02	1,000.000	m			TDA01
路面表示用塗料 トラフィックペイント溶融型 白色 JIS K 5665 3種1号	390.000	k g			TDG75
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.000	k g			TDG76
接着用プライマー 区画線（溶融式）用	25.000	k g			TDG77
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	40.000	L			T0250
材料諸雑費	5.000	%			#09
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 実線15cm B=1 白色 C=3 時間的制約を受けない D=2 豪雪補正 無（A地区損料） E=2 夜間作業 無					
F=2 塗布厚1.0mm G=2 排水性舗装に施工しない H=2 未供用区間に施工しない I=1 土木工事標準積算基準 VI-1-①-2					

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0041

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0042

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート殻運搬（有筋） SPA961 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 標準単価： 1,632.5 機械構成比： 40.77% 労務構成比： 44.82% 材料構成比： 14.41% 市場単価構成比： 0.00%	機械積込		施工 第0 -0027号表 1 m3	
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		40.77%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手（一般） [0.813]		44.82%	TPR0130 運転手（一般）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		14.41%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし B=1 機械積込 C=1 DID区間なし D=15 5.7km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0043

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 700.44 機械構成比： 15.05% 労務構成比： 58.43% 材料構成比： 26.52% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0 -0028号表 1 m	
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.24%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.96%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		10.88%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.842]		8.92%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 4 5 c m (1 8 インチ)		22.39%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 c m)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.81%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-3-③-1				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0044

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 アスファルト舗装版 標準単価： 217.37 機械構成比： 12.85% 労務構成比： 81.24% 材料構成比： 5.91% 市場単価構成比： 0.00%	障害等なし 12.85%		施工 第0 -0029号表 1	m2
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 K0049		12.85%	バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 TPK0049	
土木一般世話役 [0.753] R0010		29.54%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		27.52%	運転手 (特殊) TPR0120	
普通作業員 [0.842] R0030		24.18%	普通作業員 TPR0030	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		5.91%	軽油 1. 2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 IV-3-②-2				

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0045

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
アスファルト殻運搬 SPA961 舗装版破碎 標準単価： 2,923.5 機械構成比： 44.05% 労務構成比： 39.87% 材料構成比： 16.08% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0030号表 1 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	m3
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.05%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		39.87%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=3 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) C=1 DID区間なし D=17 6.5km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

施 工 内 訳 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離 8.6km	100	m3			施工 第0 -0031号表
普通作業員 [0.842]	10.417	人			R0030 100/9.6
側溝清掃車運転 機-19 フロ式 9.0m3	10.417	日			SK921 100/9.6 施工 第0-0032号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=8.6 運搬距離 (km) C=1 土木工事標準積算基準 II-3-⑥-2					

1111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0047

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運転 SK921 機-19 ブロワ式 9.0m3	1	日			施工 第0 -0032号表
運転手 (一般) [0.813]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [ブロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 ブロワ式 9.0m3 B=1 運転労務数量 C=84 燃料消費量 D=1 機械損料数量					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工 第0 -0033号表
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-24					

数量計算書

数量総括表

委託業務名：側溝新設事業(原町区)側溝整備測量設計(北新田地区)業務委託
工種体系名：道路維持・修繕

路河川名：
施工箇所：南相馬市原町区北新田字本町 地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠	積算システムコード
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5					
本工事費										X1000
	道路修繕									Y100R004470
		排水構造物工								Y2130004528
			作業土工							Y320B004601
				床掘り			m3	26.5	排水構造物工集計表より	Y45W7000043
					床掘り	土砂 1.0m≦W<2.0m	m3	1.0		SPA161
				床掘り			m3	43.4	排水構造物工集計表より	Y45W7000043
				床掘り		土砂 小規模	m3	1.0		SPA161
				床掘り			m3	15.4	排水構造物工集計表より	Y45W7000043
				床掘り		土砂 現場制約あり	m3	1.0		SPA161
				埋戻し			m3	22.8	排水構造物工集計表より	Y45W7000044
					埋戻し	W<1.0m	m3	1.0		SPA181
				埋戻し			m3	6.7	排水構造物工集計表より	Y45W7000044
					埋戻し	小規模	m3	1.0		
				埋戻し			m3	4.9	排水構造物工集計表より	Y45W7000044
					埋戻し	現場制約あり	m3	1.0		
				路体（築堤）盛土			m3	1.3	排水構造物工集計表より	Y44C6004481
					路体（築堤）盛土	W<2.5m	m3	1.0		
				人力運搬			m3	8.5	排水構造物工集計表より	
					人力運搬	20m以下 積込み～運搬～取卸し	m3	1.0		SPA211
				土砂等運搬			m3	47.4	排水構造物工及び構造物撤去工集計表より 45.6+1.8=47.4m3	
					土砂等運搬	L=5.5km	m3	1.0		SPA105
					整地		m3	1.0		SPA109
		側溝工								Y3215004529
			プレキャストU型側溝			Ⅲ-A-i-300A	m	49.3	排水構造物工集計表より	Y443G004537
						プレキャストU型側溝 内訳 Ⅲ-A-i-300A, L2000 L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)	S7140
					排水構造物工（U型側溝）（材別）			5.0	(10m当り)	T2000
					U型側溝 J I S 3 種落蓋型 Ⅲ A i 3 0 0 A	a300×c300×L2000 419kg/本	本	0.6	(10m当り) 5.60m×0.10m=0.56m3	T8454
					再生骨材（骨材）クラッシュラン	RC-40	m3	55.6	排水構造物工集計表より	Y443G004537
			プレキャストU型側溝			Ⅲ-A-g-40	m			
						プレキャストU型側溝 内訳 Ⅲ-A-g-40 L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)	S7140

数 量 総 括 表

委託業務名：側溝新設事業(原町区)側溝整備測量設計(北新田地区)業務委託
 工種体系名：道路維持・修繕

路河川名：
 施工箇所：南相馬市原町区北新田字本町 地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠	積算システムコード
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5					
					U型排水溝（ベンチフリューム）	ⅢA640 A400×H260 110kg/m	m	10.0	(10m当り)	
					再生骨材（骨材）クラッシャラン	RC-40	m3	0.6	(10m当り) 6.00㎡×0.10m=0.60m3	T8454
				自由勾配側溝		XI-B-a-400	m	8.0	排水構造物工集計表より	Y4431004542
						自由勾配側溝 内訳 XI-B-a-400, L2000				
					排水構造物工（自由勾配側溝）（材別）	L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)	S7141
					勾配調整型側溝B（車道）XIBa400	A300×C400×L2000 435kg/本	本	5.0	(10m当り)	T2662
					再生骨材（骨材）クラッシャラン	RC-40	m3	0.5	(10m当り) 5.10㎡×0.10m=0.51m3	T8454
					生コンクリート	普通18-8-40-60%BB	m3	0.08	(10m当り) 0.075m3	T8284
				自由勾配側溝		XI-B-a-500	m	22.0	排水構造物工集計表より	Y4431004542
						自由勾配側溝 内訳 XI-B-a-500, L2000			排水構造物工集計表より	
					排水構造物工（自由勾配側溝）（材別）	L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)	S7141
					勾配調整型側溝B（車道）XIBa500	A300×C500×L2000 547kg/本	本	5.0	(10m当り)	T2664
					再生骨材（骨材）クラッシャラン	RC-40	m3	0.5	(10m当り) 5.20㎡×0.10m=0.52m3	T8454
					生コンクリート	普通18-8-40-60%BB	m3	0.08	(10m当り) 0.080m3	T8284
				自由勾配側溝		XI-B-a-600	m	9.1	排水構造物工集計表より	Y4431004542
						自由勾配側溝 内訳 XI-B-a-600, L2000			排水構造物工集計表より	
					排水構造物工（自由勾配側溝）（材別）	L=2000 1000kg/個以下	m	10.0	(10m当り)	S7141
					勾配調整型側溝B（車道）XIBa600	A300×C600×L2000 606kg/本	本	5.0	(10m当り)	T2666
					再生骨材（骨材）クラッシャラン	RC-40	m3	0.6	(10m当り) 5.20㎡×0.10m=0.52m3	T8454
					生コンクリート	普通18-8-40-60%BB	m3	0.08	(10m当り) 0.080m3	T8284
				勾配調整コンクリート			m3	1.21	排水構造物工集計表より	
					生コンクリート	普通18-8-40-60%BB	m3	1.00		T8284
				側溝蓋		VII-C-g-300	枚	158.8	排水構造物工集計表より	Y44T2003028
					排水構造物工（蓋版）（材別）	40を超え170kg/枚以下	枚	1.0		S7142
					U型側溝蓋（JIS3種落蓋型）	VII-C-g-300 L500 46kg/枚	枚	1.0		T4000
				側溝蓋		VIII-C-a-300S	枚	9.0	排水構造物工集計表より	Y44T2003028
					排水構造物工（蓋版）（材別）	40kg/枚以下	枚	1.0		S7142
					グレーチング落蓋型側溝用かさ上げT-25	VIII-C-a-300S 35.7kg/枚	m	1.0		T4602
				集水樹工						
					プレキャスト集水樹	IX-A-a-600A, H=700	箇所	1.0	排水構造物工集計表より	Y45R2008788
						プレキャスト集水樹設置工 内訳 IX-A-a-600A, H=700, W=381kg			構造図(3)より	
					プレキャスト集水樹	据付 200kgを超え400kg以下	基	1.0	(1基当り)	SPA601

数量総括表

委託業務名：側溝新設事業(原町区)側溝整備測量設計(北新田地区)業務委託
 工種体系名：道路維持・修繕

路河川名：
 施工箇所：南相馬市原町区北新田字本町 地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠	積算システムコード
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5					
					プレキャスト集水樹（材料費）	DX-A-a-600A, H=700	基	1.0	(1基当り)	SPA602
					コンクリート	普通18-8-40-60%BB 小型構造物	m3	0.04	(1基当り)	SPB401
					集水樹用グレーチング蓋 T-25	DXAb600A 46.9kg	組	1.0	(1基当り)	T4764
				プレキャスト集水樹		DX-A-a-600B, H=700	箇所	1.0	排水構造物工集計表より	Y45RZ008788
						プレキャスト集水樹設置工 内訳 DX-A-a-600B, H=700, W=424kg 据付 400kgを超え600kg以下			構造図(3)より	
					プレキャスト集水樹		基	1.0	(1基当り)	SPA601
					プレキャスト集水樹（材料費）	DX-A-a-600B, H=700	基	1.0	(1基当り)	SPA602
					コンクリート	普通18-8-40-60%BB 小型構造物	m3	0.05	(1基当り)	SPB401
				縞鋼板		みぞ寸法 600×800	枚	1.0	構造図(4)より	
					縞鋼板	t=4.5mm	t	0.023	(1枚当り) W=23.3kg	T0411
					等辺山形鋼	L-4×50×50	t	0.008	(1枚当り) W=8.3kg	T0350
					鉄筋用小形丸鋼	φ13mm	t	0.001	(1枚当り) W=1.1kg	T0303
					集水樹用縞鋼板蓋加工費	材料費含まず	kg	32.7	(1枚当り)	T8920
			コンクリート構造物工							
				小口止		B1300×H680	箇所	1.0	排水構造物工集計表より	
					コンクリート	普通18-8-40-60%BB 小型構造物	m3	0.15	(1箇所当り)	SPB401
					型枠	小型構造物	m2	1.6	(1箇所当り)	SPB431
				シールコンクリート		t=10cm	m	23.1	排水構造物工集計表より	
					コンクリート	普通18-8-40-60%BB 小型構造物	m3	0.05	(1m当り)	SPB401
					基礎砕石	再生骨材(RC-40) t=10cm	m2	0.5	(1m当り)	SPA391
		舗装工								Y2124004799
			アスファルト舗装工							Y3212002988
				表層			m2	71.2	舗装工集計表より	Y443B008753
					表層（車道・路肩部）	再生密粒度As20 t=5cm W<1.4m フライムコート(PK-3)	m2	1.0		SPD023
				上層路盤			m2	61.0	舗装工集計表より	Y4439002995
					上層路盤（歩道部）	粒調砕石M-40 t=15cm	m2	1.0		SPD010
				下層路盤			m2	61.0	舗装工集計表より	Y4438008749
					下層路盤（歩道部）	下層路盤RC-40 t=20cm	m2	1.0		SPD006
		区画線工								Y21K0008573
			区画線工							Y321A008574
				溶融式区画線		外側線	m	89.0	区画線工集計表より	Y443T004582
					区画線工（溶融式）（材料含）	溶融式 実線 15cm	m	1.0		S7301

数量総括表

委託業務名：側溝新設事業(原町区)側溝整備測量設計(北新田地区)業務委託
工種体系名：道路維持・修繕

路河川名： 南相馬市原町区北新田字本町 地内

[illegible]

レベル1(工事区分) 道路維持・修繕

レベル2(工種) 排水構造物工

レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	算 式	単位	数 量	備 考
作業土工						
	床掘(土砂)	標準	0.0	m ³	0.0	排水構造物工 作業土工(床掘)集計表より
	床掘(土砂)	1.0m≦W<2.0m	26.5	m ³	26.5	〃
	床掘(土砂)	小規模	43.4	m ³	43.4	〃
	床掘(土砂)	現場制約あり	15.4	m ³	15.4	〃
	埋戻し	1.0m≦W<4.0m	0.0	m ³	0.0	排水構造物工 作業土工(埋戻)集計表より
	埋戻し	W<1.0m	22.8	m ³	22.8	〃
	埋戻し	小規模	6.7	m ³	6.7	〃
	埋戻し	現場制約あり	4.9	m ³	4.9	〃
	路体(築堤)盛土	W<2.5m	1.3	m ³	1.3	〃
	人力運搬	20m以下	$15.4-(4.9+1.3)/0.9$	m ³	8.5	
	土砂等運搬		$(26.5+43.4+15.4)-(22.8+6.7+4.9+1.3)/0.9$	m ³	45.6	
側溝工						
	プレキャストU型側溝	W400×H400		m		
	プレキャストU型側溝	W500×H500		m		
	プレキャストU型側溝	W700×H700		m		
	プレキャストU型側溝	W800×H800		m		
	プレキャストU型側溝	W900×H900		m		
	プレキャストU型側溝	W1500×H1100		m		
○	プレキャストU型側溝	Ⅲ-A-i-300A	49.3	m	49.3	平面図より
	プレキャストU型側溝	Ⅲ-A-i-300C		m		
	プレキャストU型側溝	Ⅲ-A-i-400B		m		
	プレキャストU型側溝	Ⅲ-A-i-500A		m		
○	自由勾配側溝	XI-B-a-400	8.0	m	8.0	構造図(2)より

レベル1(工事区分) 道路維持・修繕

レベル2(工種) 排水構造物工

レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	算 式	単位	数 量	備 考
○	自由勾配側溝	XI-B-a-500	22.0	m	22.0	〃
○	自由勾配側溝	XI-B-a-600	9.1	m	9.1	〃
	自由勾配側溝	XI-B-a-700		m		
	自由勾配側溝	XI-B-a-800		m		
	自由勾配側溝	XI-B-b-600		m		
	自由勾配側溝	XI-B-b-700		m		
	自由勾配側溝	XI-B-c-600		m		
	自由勾配側溝	XI-B-c-700		m		
	自由勾配側溝	XI-B-c-800		m		
○	勾配調整コンクリート	普通18-8-40-60%BB	1.21	m ³	1.21	構造図(2)より
○	プレキャストU型側溝	III-A-g-40	55.6	m	55.6	平面図より
○	側溝蓋	VII-C-g-300	70.2+88.6	枚	158.8	平面図より
	側溝蓋	VII-C-g-400		枚		
	側溝蓋	VII-C-g-500		枚		
○	側溝蓋	VIII-C-a-300S	4.0+5.0	枚	9.0	平面図より
	側溝蓋	VIII-C-a-400S		枚		
	側溝蓋	VIII-C-a-500S		枚		
集水枥工	プレキャスト集水枥	IX-A-a-600A, H=700		基	1.0	構造図(3)より
	プレキャスト集水枥	IX-A-a-600B, H=700		基	1.0	構造図(3)より
コンクリート構造物工	小口止	B1300×H680		箇所	1.0	構造図(4)より
	シールコンクリート	t=10cm		m	23.1	平面図, 構造図(4)より

作業土工数量計算書

右側側溝

名 称：床掘・埋戻し

P. 1

測 点	距 離 (m)	床掘 (1.0m ≤ W < 2.0m)			床掘 (小規模)			埋戻し (W < 1.0m)			摘 要
		断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	体 積 (m ³)	断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	体 積 (m ³)	断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	体 積 (m ³)	
BP' (NO. 0) R	0.000	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	
NO. 0+0.80R	0.801	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 0+0.80R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 1R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 1+12.80R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
IP. 1' R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
IP. 1' R	0.000	0.6	0.30	0.0	0.4	0.20	0.0	0.4	0.20	0.0	
NO. 2R	4.802	0.6	0.60	2.9	0.4	0.40	1.9	0.4	0.40	1.9	
NO. 2+2.55R	2.550	0.6	0.60	1.5	0.4	0.40	1.0	0.4	0.40	1.0	
NO. 3R	17.450	0.4	0.50	8.7	0.4	0.40	7.0	0.3	0.35	6.1	
IP. 2' R	16.272	0.3	0.35	5.7	0.3	0.35	5.7	0.3	0.30	4.9	
IP. 2' R	0.000	0.2	0.25	0.0	0.4	0.35	0.0	0.2	0.25	0.0	
NO. 4R	3.820	0.1	0.15	0.6	0.4	0.40	1.5	0.2	0.20	0.8	
NO. 5R	20.000	0.2	0.15	3.0	0.3	0.35	7.0	0.2	0.20	4.0	
NO. 6R	20.000	0.2	0.20	4.0	0.3	0.30	6.0	0.2	0.20	4.0	
小 計	85.695			26.4			30.1			22.7	
合 計	85.695			26.4			30.1			22.7	

作業土工数量計算書

右側側溝

名 称：床掘・埋戻し

P. 2

測 点	距 離 (m)	床掘 (1.0m ≤ W < 2.0m)			床掘 (小規模)			埋戻し (W < 1.0m)			摘 要
		断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	体 積 (m ³)	断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	体 積 (m ³)	断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	体 積 (m ³)	
NO. 6R	0.000	0.2	—	—	0.3	—	—	0.2	—	—	
IP. 3' R	0.694	0.1	0.15	0.1	0.4	0.35	0.2	0.2	0.20	0.1	
NO. 7R	0.000	0.0	0.05	0.0	0.0	0.20	0.0	0.0	0.10	0.0	
NO. 8R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
IP. 4' R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 8+14. 40R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 9R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 9R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 9+2. 20R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 10+6. 16R		0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 11R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 12	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 13R	0.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 14R		0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
小 計	0.694			0.1			0.2			0.1	
合 計	86.389			26.5			30.3			22.8	

レベル1(工事区分) 道路維持・修繕

レベル2(工種) 舗装工

[illegible]

交通誘導警備員算出根拠表

名称	規格1 規格2	単位	数量	日当り作業量	作業日数 集計1	作業日数 集計2	作業日数 集計3	作業日数 集計4	作業日数 集計5	備考	コード
本工事費											X1000
道路改良		式	1								Y100H002672
排水構造物工		式	1								Y210F001848
作業土工		式	1		3						Y320B000046
床掘り	土砂、1.0m≦W<2.0m	m3	26.5								Y440R001091
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3	1.0	150	0.2						SPA161
床掘り	土砂、小規模	m3	43.4								Y4020
床掘り	土砂 小規模	m3	1.0	32	1.4						SPA161
床掘り	土砂、現場制約あり	m3	15.4								Y4020
床掘り	土砂 現場制約あり	m3	1.0	2.4	0.0						SPA161
埋戻し	W<1.0m	m3	22.8								Y440S003285
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	m3	1.0	33	0.7						SPA181
埋戻し	小規模	m3	6.7								Y4020
埋戻し	小規模 土砂	m3	1.0	40	0.2						SPA181
埋戻し	現場制約あり	m3	4.9								Y4020
埋戻し	現場制約あり 土砂	m3	1.0	3.7							SPA181
路体(築堤)盛土	W<2.5m	m3	1.3								Y4020
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3	1.0	50							SPA113
人力運搬	20m以下	m3	8.5								Y4020
人力運搬(積込み～運搬～取卸し)	20m以下	m3	1.0	5							SPA211
土砂等運搬	原町ストック	m3	47.4								Y4232
土砂等運搬	標準 ハックホ;山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	1.0	42							SPA105
整地	残土受入れ地での処理	m3	1.0	434							SPA109
側溝工		式	1		7						Y3326
プレキャストU型側溝(Ⅲ-A-i-300A)		m	49.3								Y4196
排水構造物工(U型側溝)(材別)	L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	m	1.0	22	2.2						S7140
プレキャストU型側溝(Ⅲ-A-g-40)		m	55.6								Y4196
排水構造物工(U型側溝)(材別)	L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	m	1.0	43							S7140
自由勾配側溝(XI-B-a-400)		m	8.0								Y4020
排水構造物工(自由勾配側溝)(材別)	L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない	m	1.0	14	0.6						S7141
自由勾配側溝(XI-B-a-500)		m	22.0								Y4020
排水構造物工(自由勾配側溝)(材別)	L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない	m	1.0	14	1.6						S7141
自由勾配側溝(XI-B-a-600)		m	9.1								Y4020
排水構造物工(自由勾配側溝)(材別)	L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない	m	1.0	14	0.7						S7141
勾配調整コンクリート		m3	1.21								Y4020
コンクリート	無筋 鉄筋構造物 人力打設	m3	1.0	4	0.3						SPB401
側溝蓋(Ⅶ-C-g-300)		枚	158.8								Y4020
排水構造物工(蓋版)(材別)	40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	枚	1.0	120	1.3						S7142
側溝蓋(Ⅶ-C-a-300S)		枚	9.0								Y4020
排水構造物工(蓋版)(材別)	40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	枚	1.0	120	0.1						S7142
集水樹工		式	1		1						Y3020
プレキャスト集水樹(IX-A-a-600A、H-700)		箇所	1.0								Y4020
プレキャスト集水樹	据付 200kgを超え400kg以下	基	1.0	42	0.0						SPA601
コンクリート	小型構造物 人力打設	m3	0.04	5	0.0						SPB401
プレキャスト集水樹(IX-A-a-600B、H-700)		箇所	1.0								Y4020
プレキャスト集水樹	据付 400kgを超え600kg以下	基	1.0	29							SPA601
コンクリート	小型構造物 人力打設	m3	0.05	5							SPB401
編鋼板(みぞ寸法600×800)		枚	1.0								Y4020
編鋼板	t=4.5mm	枚	1.0								V0002
コンクリート構造物工		式	1								Y3020
小口止	B1300×H680	箇所	1.0								Y4020
コンクリート	小型構造物 人力打設	m3	0.15	5							SPB401
型枠	一般型枠 小型構造物	m2	1.6	15							SPB431
シールコンクリート	t=100mm	m	23.1								Y4020
コンクリート	小型構造物 人力打設	m3	0.05	5							SPB401
基礎砕石	7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40	m2	0.5	155							SPA391
舗装工		式	1								Y2020
アスファルト舗装工		式	1		1						Y3020
表層		m2	71.2								Y4020
表層(車道・路肩部)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚50mm	m2	1.0	250	0.3						SPD023
上層路盤		m2	61.0								Y4020
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 全仕上り厚190mm	m2	1.0	830	0.1						SPD009
下層路盤		m2	61.0								Y4020
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚200mm 1層施工	m2	1.0	830	0.1						SPD005
区画線工		式	1.0								Y2020
区画線工		式	1.0		1						Y3020
溶融式区画線		m	89.0								Y4020
区画線工(溶融式)(材料含)	実線15cm	m	1.0	1000	0.1						S7301
構造物撤去工		式	1								Y2020

交通誘導警備員算出根拠表

名称	規格1 規格2	単位	数量	日当り作業量	作業日数 集計1	作業日数 集計2	作業日数 集計3	作業日数 集計4	作業日数 集計5	備考	コード
作業土工		式	1.0		1						Y3020
床掘り	土砂、小規模	m3	2.4								Y4020
床掘り	土砂 小規模	m3	1	32	0.1						SPA161
埋戻し	小規模	m3	0.5								Y4020
埋戻し	小規模 土砂	m3	1	40	0.0						SPA181
構造物取壊し工		式	1.0		1						Y3020
コンクリート構造物取壊し(有筋)		m3	5.6								Y4020
構造物とりこわし工(機械施工)	鉄筋構造物	m3	1.0	11	0.5						S7307
般運搬処理	コンクリート般(有筋)	m3	5.6								Y4020
コンクリート般運搬(有筋)	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	m3	1.0	33							SPA961
処分費	コンクリート般(有筋)	t	14.0								Y4020
舗装版取壊し工		式	1.0		1						Y3020
舗装版切断		m	90.9								Y4020
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	1.0	203	0.4						SPD321
舗装版取壊し		m2	69.4								Y4020
舗装版破砕	アスファルト舗装版 隆起等なし	m2	1.0	484	0.1						SPD311
般運搬処理		m3	3.5								Y4020
アスファルト般運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	m3	1.0	20							SPA961
汚泥運搬		m3	0.7								Y4020
側溝清掃車運搬	運搬距離 8.6km	m3	1.0	9.6							S5200
処分費	アスファルト般	式	1.0								Y4020
処分費	汚泥	式	1.0								Y4020
安全工		式	1.0								Y2020
安全工		式	1.0								Y3020
交通誘導員		人	32.0								Y4020
運搬費		式									Z0004
準備費		式									Z0003
事業損失防止施設費		式									Z0002
安全費		式									Z0008
工事名標示板費		式	1								YZYK2007379
工事名標示板加算額		基	2								S9990
役務費		式									Z0005
技術管理費		式									Z0006
営繕費		式									Z0007
現場環境改善費(横上)		式									Z0010
共通仮設費(率)		式									Z0009
労務管理費		式									Z0012
中止期間中の現場維持等の費用		式									Z0011
技術者間接費		式									Z0013
機器管理費		式									Z0014
				合計 (日)	16						
				合計(変更)(日)							

交通誘導警備員 32 人

特記仕様書

工 事 番 号： 2026000750
 路 線 河 川 名： 北新田4号線
 工 事 名： 浸水対策事業（防災・減災）排水路整備
 （北新田地区2工区その3）工事
 工事施工箇所： 南相馬市原町区北新田字本町 地内

- 1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和7年10月1日改正）」に基づき実施しなければならない。
- 2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。
 ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。
 - ・第20章 情報共有システム・遠隔臨場
 - ・第21章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
 - ・第22章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
 - ・第23章 週休2日確保モデル工事等
 - ・第24章 建設キャリアアップシステム活用工事
 - ・第25章 ふくしまME資格取得者の現場活用
 - ・第26章 法定外の労災保険の付保
 - ・第27章 異常気象時における現場状況の報告
 - ・第28章 再生資源利用計画書
 - ・第29章 再生資源利用促進計画書
 - ・第30章 その他
- 3 第2章～第3章、第9章～第25章、第29章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。
 ※ 福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書
- 4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。
- 5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
平面図	1	1	
右側側溝縦断面図	2	1	
標準横断面図	3	1	
側溝横断面図	4～5	2	
構造図	6～9	4	
舗装展開図	10	1	
路面表示図	11	1	
As 舗装版取壊し平面図	12	1	

構造物取壊し平面図	13	1	
計	全 13 葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
計	全	葉	

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

南相馬市

☒第1章 一般共通事項

- ☐1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------|----------------------------|---|----------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 5) その他 () | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |

- ☐2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- ☐3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☐無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

~~☒4 河道掘削に伴う工事測量~~

~~河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。~~

~~☒第2章 フレックス工事~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。~~

~~☒第3章 準備期間確保工事~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（〇〇日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。~~

☒第4章 総 則

- ☐1 施工計画書

工程管理は バーチャート により行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

- ☐2 工事用地等の使用

- ☐1) _____ 作業に係るヤードとして、別添「_____ 図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

- ☐2) 使用にあたっての条件、制限等

□3 関連工事

- 1) 工 事 名 : _____
- 2) 路河川名 : _____ 線・筋
- 3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内
- 4) 注意・指示事項 : _____

□4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

□5 工事現場発生品

- 1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

- 2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

□6 建設副産物処理

- 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤道路㈱
無筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	小林建設工業(有)
有筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	小林建設工業(有)
泥水	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	(株)モンマ

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事(工種)の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事 (工種)で2)に 示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2)に示す工事 (工種)
③工期が1年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・協議による。	
④その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) ②不可視部の工事(工種)とは次のものとする。

☐杭基礎、☐場所打杭、☐深礎杭、☐ケーソン基礎、☐地盤改良
☐捨石均し、☐被覆・根固め均し、☐井筒潜函基礎、☐山腹基礎床掘
☐上層路盤(1,000m²以上の工事)
☐現場打ちのボックスカルバート、擁壁(鉄筋 Co)
☐橋台・橋脚、☐現場制作PC橋、☐床版
☐水門・樋門
☐ブロック製作、ケーソン製作
☐覆工 Co の前段工事
☐その他【

】

- 3) ④その他、発注者が必要とする工種(工事)とは次のものとする。

☐桁の仮組立
☐水門扉、☐可動堰、☐スノーシェッド、☐ポンプ施設、☐除塵機、☐栈橋
☐堰堤(Co、盛土)
☐堰(工場制作)、ラバーダム
☐地盤変動等の影響が予想される掘削
☐仮橋、路面覆工(一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
☐仮堤防(本堤防と同等の機能を求める仮堤防)
☐その他【

】

- ☐ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考

□ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

□ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

□ 11 用地取得及び支障物件

□ 1) 工事区域内の用地確保 (□ 済 ・ □ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 年 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

□ 2) 工事支障物件： □ 有 ・ □ 無

【支障物件移転予定時期】 年 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

☐ 12 工事の履行報告（工程会議）

工事着工後、履行状況については、翌月 5 日まで に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

□ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は 作業時 に 2 人 配置する。

交替要員は 人 配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

□ 14 作業工程

1) 全ての 作業は、昼間作業 とし、時間帯は 8 時 30 分～ 17 時までとする。

2) 作業工程における注意事項:

3) 現道の使用規制について

現道は、 第三者車両が速やかに通行できるよう 本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 ☐ 有 ・ ☐ 無 年 月 日

工事を施工しない時間帯 ☐ 有 ・ ☐ 無 : ~ :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ _____ に適用
する。

□ 15 仮設

☐ 1) 指定仮設の有無 ☐ 有 ・ ☐ 無

□ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

□3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： 数量等：

存置期間：

☐ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	① 昇降設備の充実 ② 環境対策の充実 ③ ICT設備の充実 ④ 作業負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舎の充実 ③ 現場休憩所の充実(交通誘導警備員待機室を含む) ④ 衛生設備・厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設の充実 ② 盗難防止対策 ③ 健康関連施設の充実 ④ 野生生物・害虫対策等
地域連携	()	① 広報活動等(完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等) ② 見学会・イベント等の開催(見学施設等設置・管理運営等含む) ③ 社会貢献・地域貢献等(地域行事等の経費含む) ④ 現場景観向上(美装化・デザイン看板等)

□ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

□第5章 材 料

□ 1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

□3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

□第6章 一般施工

□1 建設発生土の処理

□1) 他工事への流用: □ 有 ・ □ 無

工事名: _____ 路河川名: _____

施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内 _____

運搬距離 _____ km

□ 2) 搬出先 (予定地)

受入場所: 南相馬市原町区泉字前向 地内

運搬距離 5.5 km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□ 2 他工事からの流用土

□ 1) 他工事からの流用: ☐ 有 ・ ☐ 無

① 工事名: _____ 路河川名: _____

② 指定・施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 _____ 大字 _____ 字 _____ 地内

③ 運搬の有無: ☐ 有 ・ ☐ 無 (_____ km)

④ 品 質: _____

品質の確認試験 (_____) については、 _____ で実施する。

□ 3 購入土等

□ 1) 購入土等の有無: ☐ 有 ・ ☐ 無

□ 2) 購入土等の種類: ☐ 購入土 ・ ☐ 岩ズリ ・ ☐ その他 (_____)

□ 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□ 4) 購入土等が1工事あたり1,000m³以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□ 4 建設汚泥（泥土）の処理

□ 1) 汚泥（泥土）は、 _____ による改良を行い、 _____ として再利用する。

□ 2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における _____ とする。

□ 3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。
なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。

□ 4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□ 5 レディーミクストコンクリートの養生

□ 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下

2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級	3,000 未満	1,500	
第 4 種第 1 級			
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。

また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第8章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のㄥ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ② 右利き、左利きに対応した施設
- ③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ⑫ プライバシーに配慮された施設
- ⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ① 使い方を直感的に理解できる施設
- ② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ⑦ 四季を通じて安全な施設
- ⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ☐① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐② 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

☐第9章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- ☐1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路構造物の記録保存資料
- ☐2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路舗装構成等の記録保存資料

☐第10章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

☐第11章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：〇〇工区（施工箇所〇〇、〇〇）、△△工区（施工箇所〇〇）

□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）

（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所〇〇）とする。）

☐第12章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第13章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事の発注方式は (☐受注者希望型 ・ ☐発注者指定型) である。

□2 ICT活用工事(土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工等)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工)」の対象工事である。

□3 ICT活用工事(舗装工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(舗装工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(舗装工)」の対象工事である。

□4 ICT活用工事(浚渫工(港湾))

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(浚渫工(港湾))」の対象工事である。

□5 ICT活用工事(土工1,000m³未満)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工1,000m³未満)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工1,000m³未満)」の対象工事である

□6 ICT活用工事(小規模土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(小規模土工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(小規模土工)」の対象工事である。

□第14章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

~~□第15章 「総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

□第16章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

i) 作業不能日数：●日間

ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（令和●年～●年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したものの。

iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下 第一位を四捨五入する。））が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

3 基準とする気象庁の気象観測所は施工現場によって次のとおりとする。

i) 施工現場が小高区の場合 「浪江」

ii) 施工現場が鹿島区及び原町区の場合 「相馬」

~~第 1.7 章 三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

~~第 1.8 章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

~~——本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~——記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事
令和○年○月○日まで 時間帯○:○○～○:○○
河川(交付)工事(開削)
発注者 福島県○○建設事務所 ○○課
施工者 ○○○○建設株式会社
電話 ○○-○○○○-○○○○

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

~~第19章 電子納品~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~電子納品保管管理システムへのオンライン納品は、電子媒体納品書を監督員に提出し、成果品が登録済みであることの確認を受けることで完了とする。~~

第20章 情報共有システム、遠隔臨場

（本章はすべての工事に該当する）

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報共有システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電子媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、「南相馬市建設工事情報共有システム実施要領」によること。

第2-1章 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％~~

~~□2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％~~

第2-2章 ~~快適トイレの設置~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページ『快適トイレの設置について』『土木部発注工事における快適トイレの設置に関する運用』を参照のこと)~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。当初設計においては、~~

~~□ 快適トイレ □ 快適トイレ男女一体型（ハウス型）~~

~~設置基数：__○__基 設置期間：__○__月__○__月として計上している。~~

~~現場に快適トイレを設置しない場合は、発注者と協議すること。~~

~~現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、上記設置基数以上の快適トイレを設置する場合は、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

~~また、実際に現場へ快適トイレを設置した期間が確認できる資料を監督員に提示すること。~~

第2-3章 週休2日確保モデル工事等

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」「南相馬市発注工事における「週休2日確保モデル工事」試行要領」に定める工事のうち、☒としている箇所の対象工事である。

☒「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☒月単位 ☐完全週休2日

☐「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐完全週休2日

なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「完全週休2日」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第24章 ~~建設キャリアアップシステム活用工事~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

- ~~1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~
- ~~2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~
- ~~(※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照)~~

第25章 ~~ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

第26章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第27章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、

FAX又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

第28章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第29章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書(※技術管理課ホームページ参照)の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。(※試行要領は技術管理課ホームページ参照)

4 受注者は、土壤汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

☑第30章 その他

(1) 工事書類の簡素化について

1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。

2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

3. 排水路の施工については、一部区間人力施工とする。

〇〇〇建設事務所 〇〇〇部 〇〇課 〇〇〇 行 (FAX:024-〇〇〇-〇〇〇〇)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	工第〇〇－４１３００－〇〇〇〇号 〇〇〇〇〇〇〇〇工事		
場 所	市 地内		
請負者	〇〇〇〇〇(株)		
現場代理人	〇〇〇〇		
点検日時	開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分	
(24時間表示)	終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分	
点検項目	異常の有無		
○現場内の状況			
・法面の崩壊	無し		
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)		
・法面からの湧水	無し		
・路面の陥没	無し		
・仮設の設置状況	無し		
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し		
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し		
・河川、水路の水位の上昇状況	無し		
・土石流の発生	無し		
・地すべりの発生	無し		
○現場周辺の状況			
・法面の状況	無し		
・路面の状況	無し		
・流末排水の状況	無し		
・雨量計の読み取り	000 mm		
・土石流危険渓流の状況	無し		
・砂防指定地の状況	無し		
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し		
・地すべり危険区域の状況	無し		
・その他異常の有無	無し		
処置内容			
・No. 〇～ No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。			

本線・支線路線

中心線座標一覧表

点 名	X座標	Y座標
BP	183832.150	99161.693
NO.1	183851.901	99158.545
IP.1	183856.836	99157.759
NO.1+7.20	183858.361	99156.169
NO.2	183867.223	99146.933
NO.2+3.70	183869.784	99144.263
NO.3	183881.069	99132.501
IP.2	183884.029	99128.658
NO.3	183892.620	99122.666
NO.4	183897.376	99123.147
NO.5	183917.274	99125.158
IP.4	183930.479	99128.492
NO.6	183936.628	99123.761
NO.6+10.00	183945.767	99119.702
IP.5	183947.103	99119.109
NO.6+13.62	183948.842	99117.831
NO.7	183953.983	99114.033
NO.7+0.69	183954.539	99113.645
NO.7+2.50	183955.998	99112.573
NO.7+10.00	183962.042	99108.132
IP.6	183967.529	99104.100
NO.8	183970.333	99102.577
NO.8+3.20	183973.145	99101.649
NO.9	183987.907	99093.030
IP.7	183994.769	99089.303
NO.10	184005.168	99082.939
IP.8	184021.790	99072.767
NO.11	184022.210	99072.473
NO.12	184038.999	99061.010
IP.9	184045.483	99056.185
NO.13	184054.607	99049.631
NO.13+10.00	184062.472	99042.856
NO.14	184070.337	99036.680
IP.10	184081.254	99028.108
NO.15	184085.480	99023.682
NO.15+5.00	184088.933	99020.065
NO.16	184099.291	99009.216
NO.16+10.00	184106.197	99001.983
NO.17	184113.102	98994.730
IP.11	184113.724	98994.699

本線・支線路線

中心線座標一覧表

点 名	X座標	Y座標
NO.18	184119.728	98975.967
NO.18+3.70	184120.891	98972.535
IP.12	184123.146	98968.649
NO.19	184121.721	98956.631
NO.19+10.00	184120.156	98946.754
NO.20	184118.592	98936.878
IP.13	184118.263	98934.796
NO.20+11.60	184123.880	98927.145
NO.20+15.30	184126.069	98924.162
NO.21	184128.851	98920.374
NO.21+3.50	184130.922	98917.553
NO.21+17.68	184139.214	98908.122
NO.22	184140.687	98904.252
IP.14	184147.735	98894.653
NO.23	184151.806	98887.661
NO.23+8.10	184155.881	98880.661
NO.23+10.70	184157.189	98878.414
NO.23+14.60	184159.151	98875.043
NO.23+18.17	184160.948	98871.958
IP.15	184161.270	98871.404
NO.24	184161.740	98870.312
NO.24+10.00	184163.694	98861.127
IP.16	184168.216	98855.270
NO.25	184171.263	98853.310
IP.17	184178.244	98848.820
NO.26	184184.395	98844.863
NO.26	184188.602	98843.621
NO.27	184207.784	98837.960
NO.28	184226.965	98832.298
NO.29	184246.147	98828.637
IP.18	184250.714	98825.289
NO.30	184263.144	98816.473
NO.31	184279.457	98804.902
IP.19	184294.263	98794.401
NO.32	184295.480	98795.791
NO.32+5.10	184298.840	98799.628
NO.33	184308.655	98810.839
NO.34	184321.831	98825.886
IP.20	184327.727	98832.629
NO.35	184335.128	98840.824
NO.35+1.74	184336.294	98842.116
NO.36	184348.525	98855.674
NO.37	184361.922	98870.524
BP	184367.099	98876.233

基準点座標一覧表

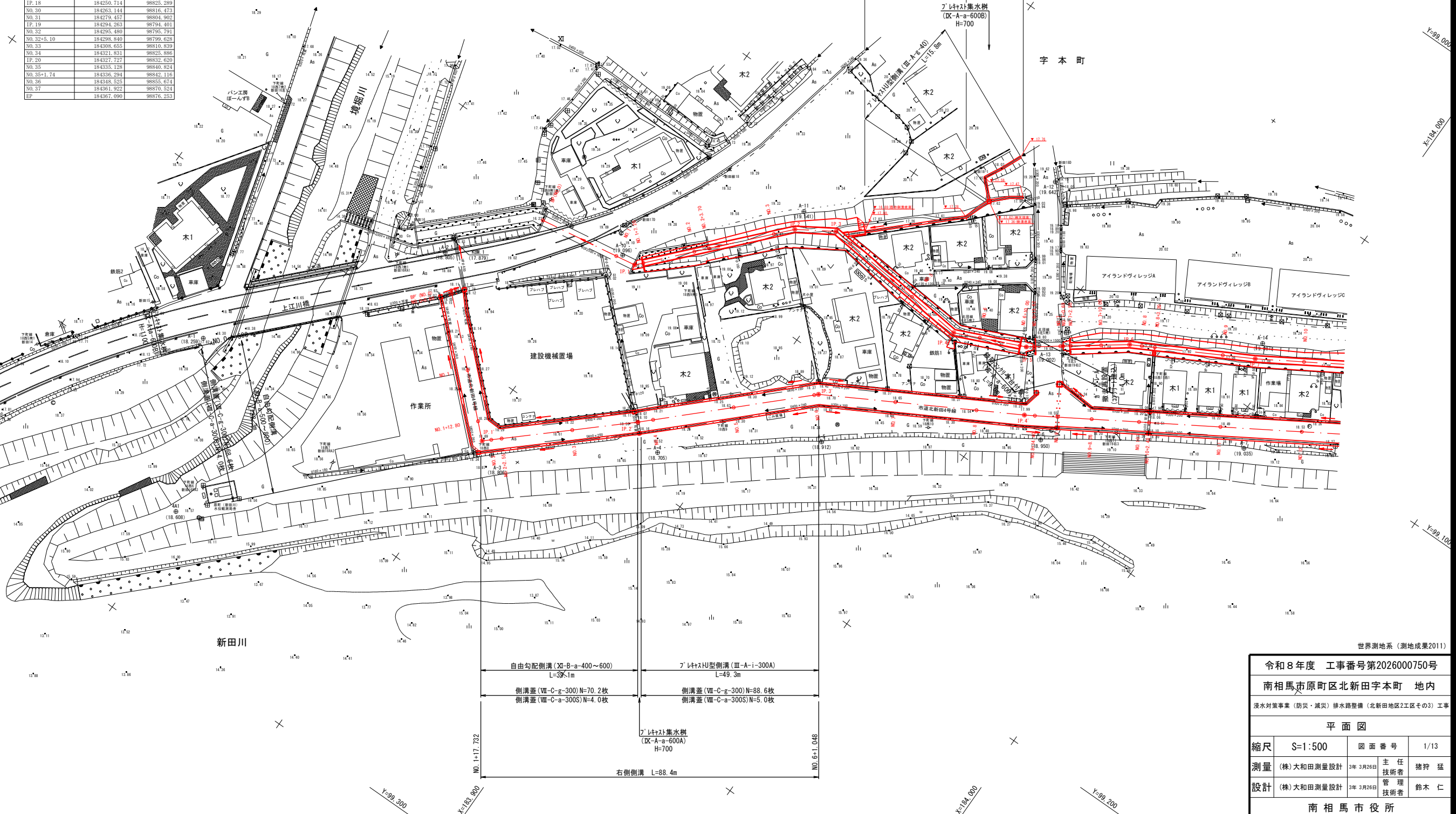
点 名	X座標	Y座標
4A1	183799.364	99271.855
4A2	184139.840	99037.413
IP.12	184123.146	98968.649
A-3	183854.843	99216.999
A-1	183780.476	99233.185
A-2	183817.025	99181.925
A-10	183853.063	99157.458
A-11	183883.349	99123.194
A-12	183929.706	99081.858
A-13	183949.428	99117.063
A-14	183994.100	99085.141
A-6	183963.079	99135.780
A-15	184052.353	99045.389
A-7	184005.098	99108.863
A-5	183919.337	99166.995
A-4	183887.863	99192.220
A-16	184097.548	99005.750
A-17	184121.840	98981.946
A-18	184131.240	98950.330
A-19	184125.008	98930.117
A-23	184174.725	99004.689
A-20	184160.062	98881.464
A-21	184172.165	98855.871
A-22	184188.900	98846.485
A-23	184204.850	98828.907
A-24	184240.633	98820.825
A-25	184293.362	98786.211
A-26	184326.815	98829.913
A-9	184097.520	99057.814
A-8	184047.570	99084.848

平 面 図 S=1:500

南相馬市原町区
北新田字信田

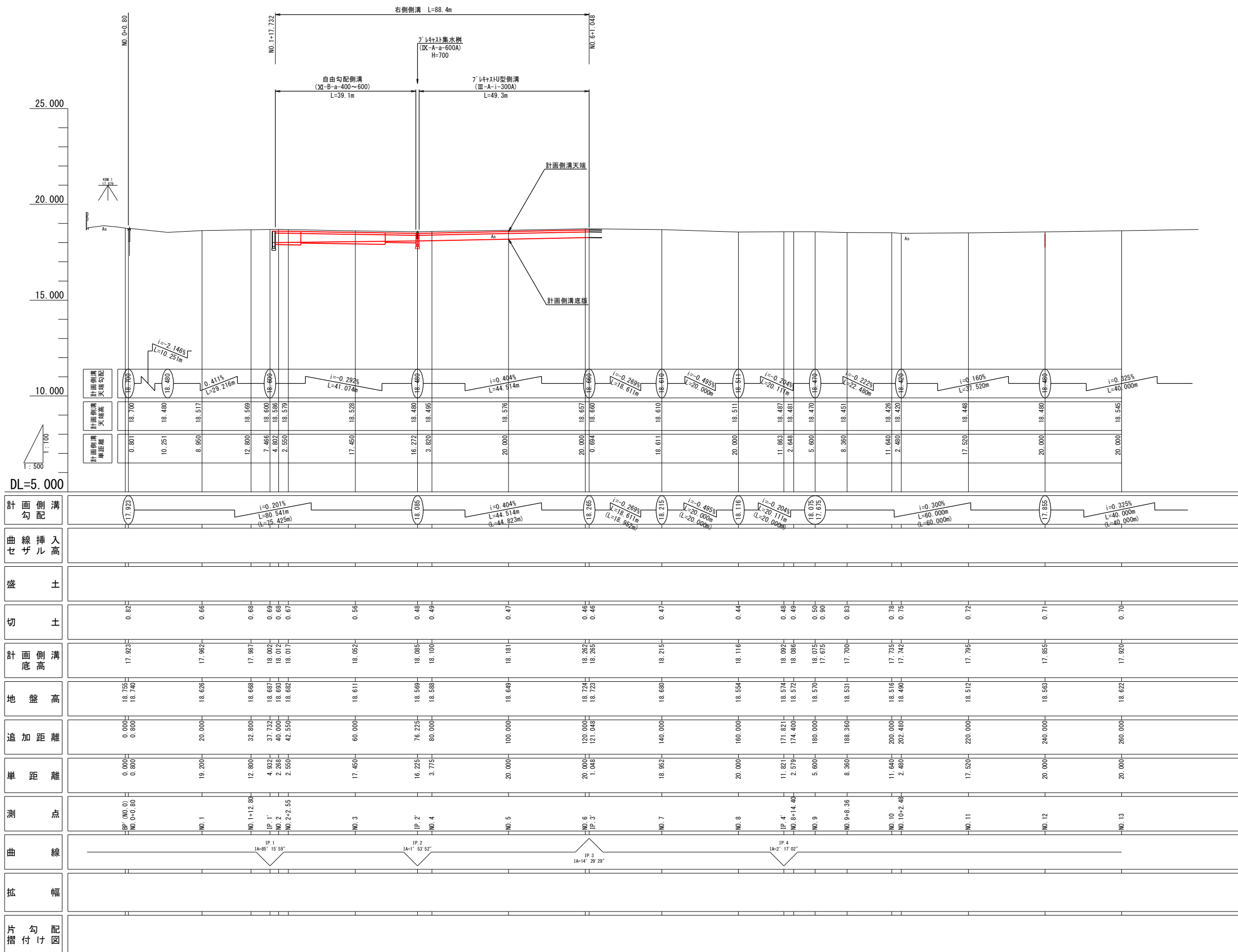
市道北新田4号線
中心線座標一覧表

点 名	X座標	Y座標
BP	183823.544	99185.189
NO.0+0.80	183824.125	99189.189
NO.1	183838.073	99202.389
NO.1+12.80	183847.371	99211.186
IP.1	183850.954	99214.575
NO.2	183856.643	99213.062
NO.2+2.55	183854.543	99211.360
NO.3	183867.540	99199.717
IP.2	183879.625	99188.890
NO.4	183882.352	99186.279
NO.5	183896.798	99172.448
NO.6	183911.245	99158.617
IP.3	183912.002	99157.892
NO.7	183928.536	99148.628
NO.8	183945.983	99138.852
IP.4	183956.296	99133.074
NO.8+14.40	183958.494	99131.725
NO.9	183963.266	99128.795
NO.9+8.36	183976.391	99124.421
NO.10	183980.211	99118.211
NO.10+2.48	183982.424	99117.034
NO.11	183997.355	99107.868
NO.12	184014.400	99097.404
NO.13	184031.444	99086.940
NO.14	184048.488	99076.477
IP.5	184063.420	99067.310
NO.15	184065.611	99066.150
NO.16	184083.288	99056.794
NO.17	184100.464	99047.438
IP.6	184103.139	99046.287
NO.18	184119.048	99038.904
IP.7	184126.575	99035.411
NO.18+11.70	184129.700	99034.065
NO.19	184137.325	99030.783
IP.8	184155.180	99023.093
NO.20	184155.634	99022.769
NO.21	184171.922	99011.163
NO.21+9.10	184179.333	99005.882
NO.22	184188.210	98999.557
BP	184196.425	98993.703



令和8年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (北新田地区2工区その3) 工事			
平 面 図			
縮尺	S=1:500	図 面 番 号	1/13
測量	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	主 任 技 術 者	猪狩 猛
設計	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	管 理 技 術 者	鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

縦断図

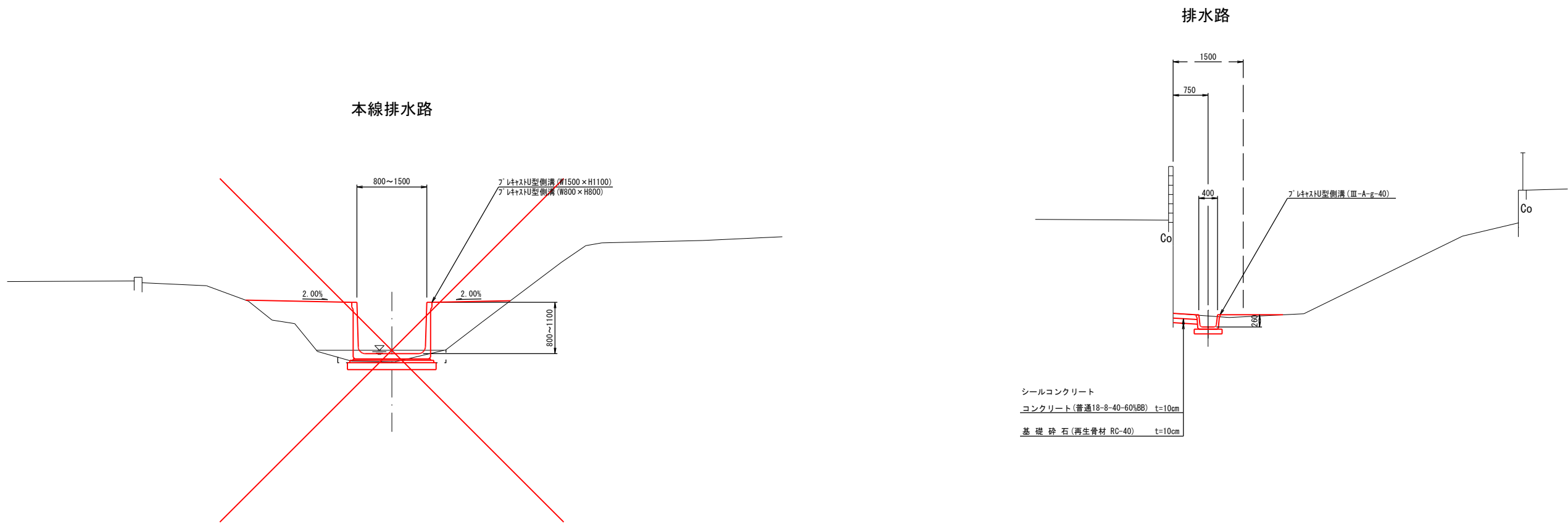


※ () 内寸法はセータ長を示す。

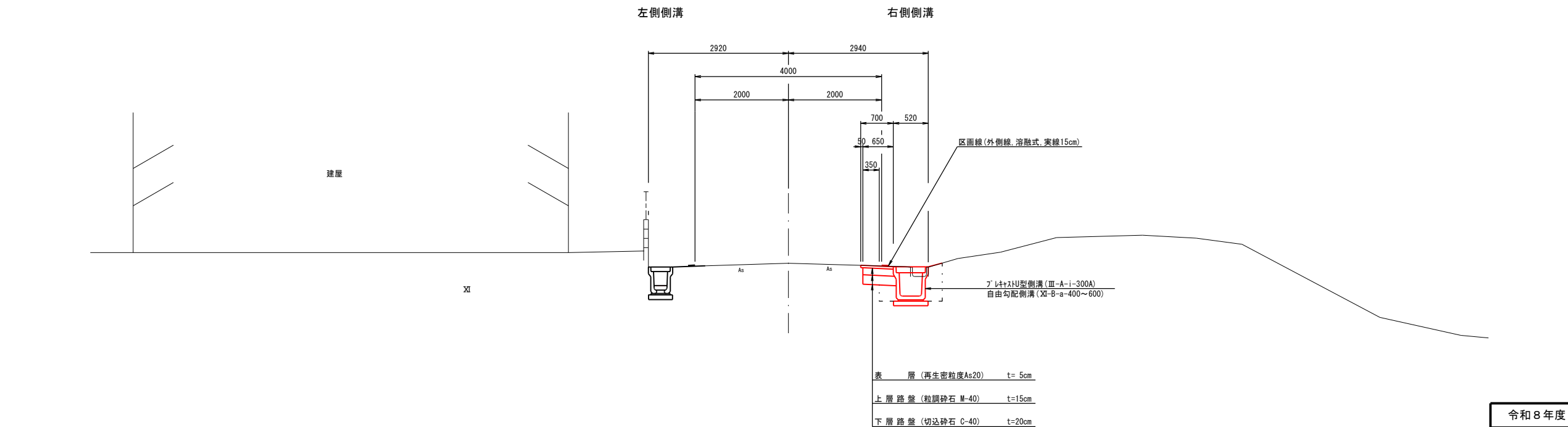
令和8年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（北新田地区2工区その3） 工事			
右側倒溝縦断面図			
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面番号	2/13
測量	(株)大和田測量設計	3年 3月26日	主任技術者 猪狩 猛
設計	(株)大和田測量設計	3年 3月26日	管理技術者 鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

標準横断図

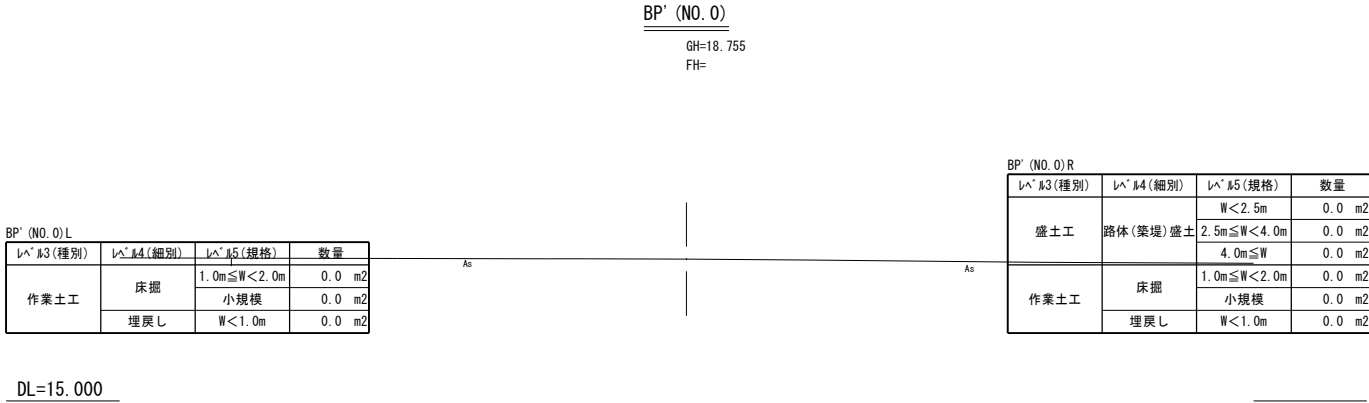
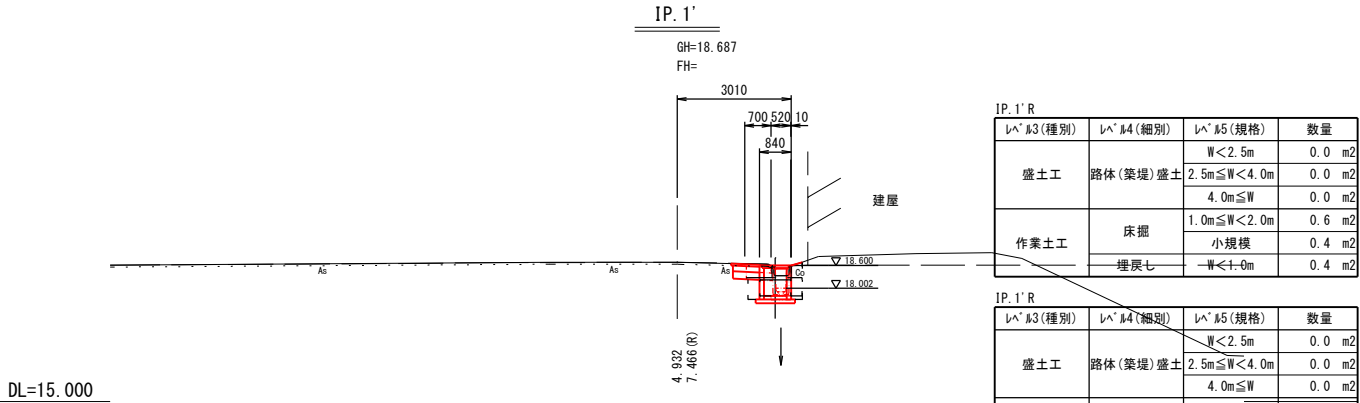
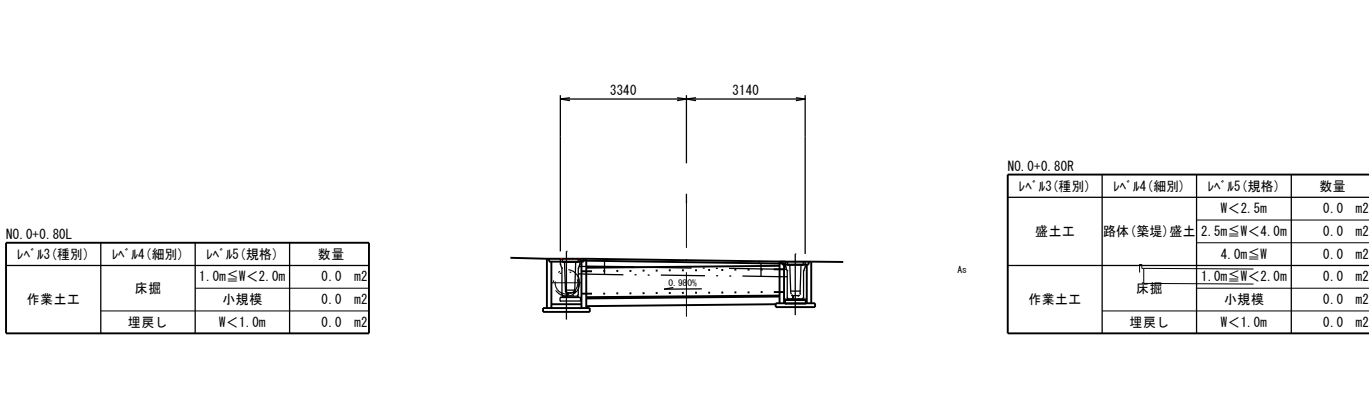
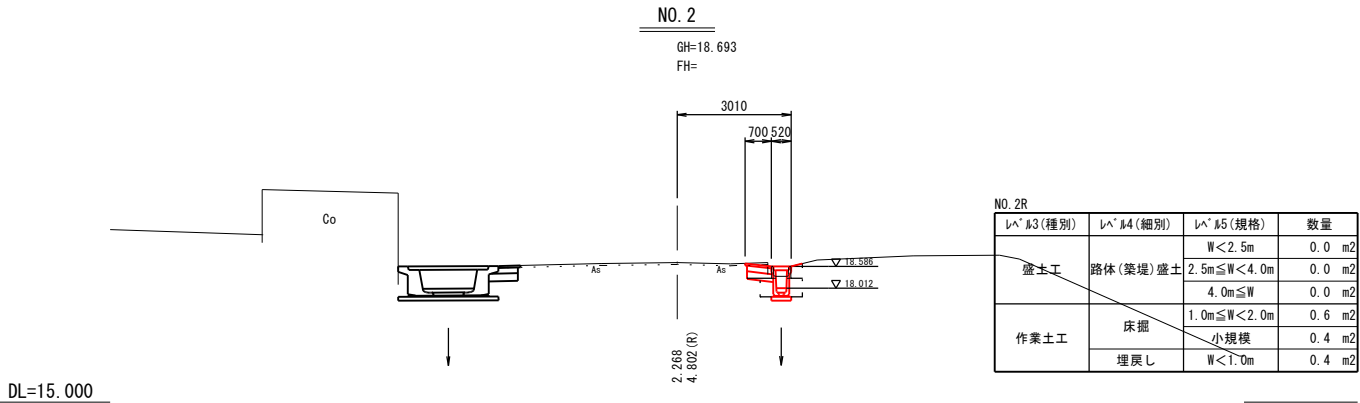
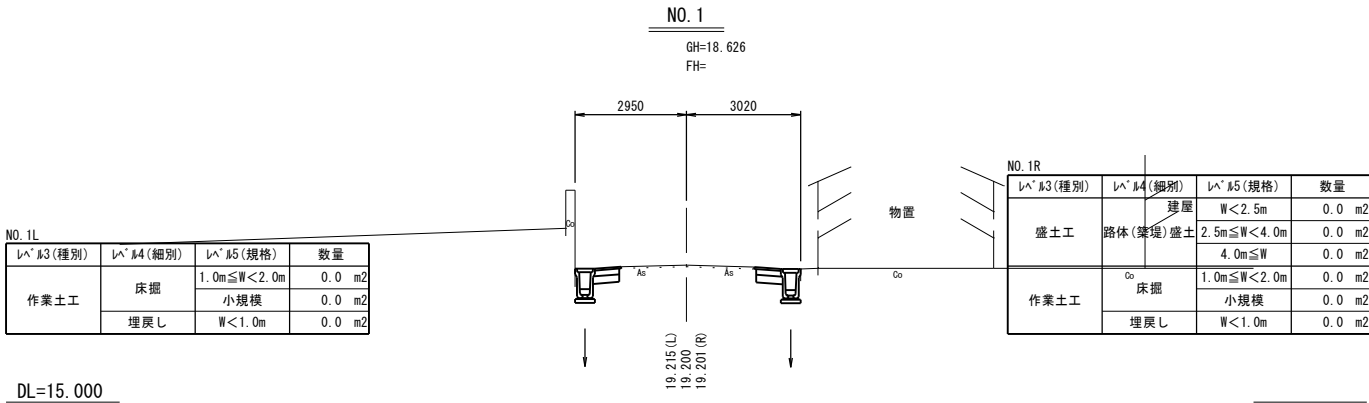
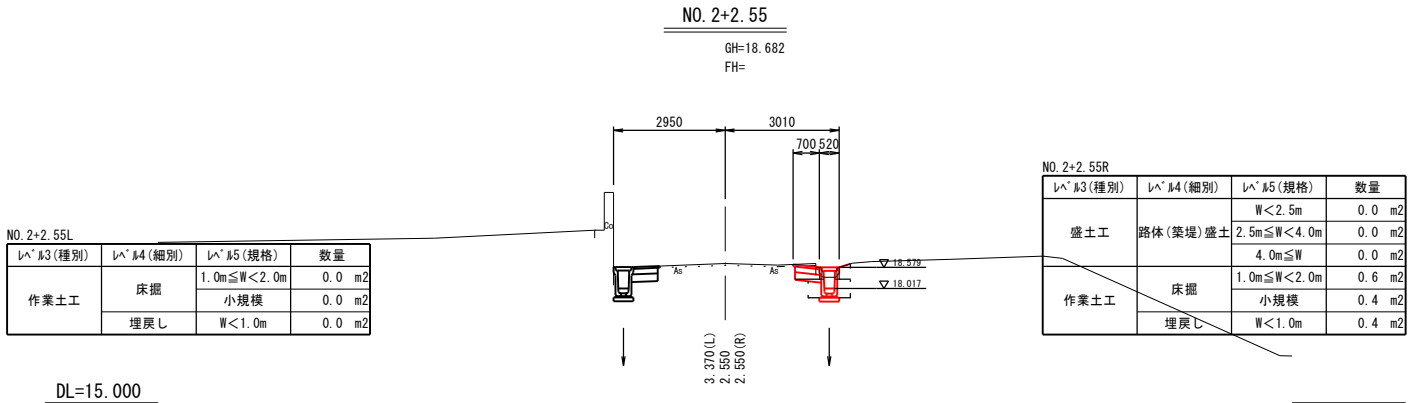
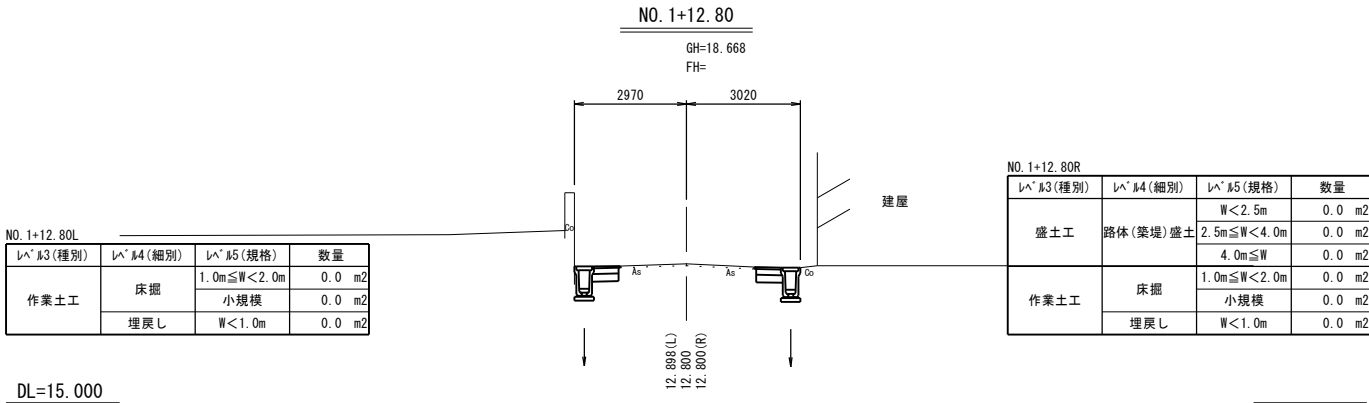
S=1:50



市道北新田4号線

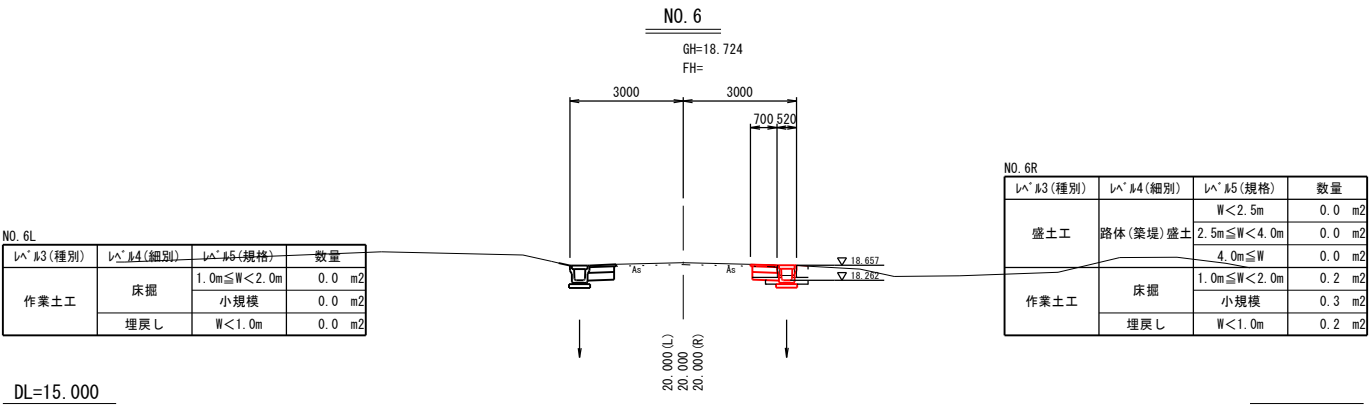
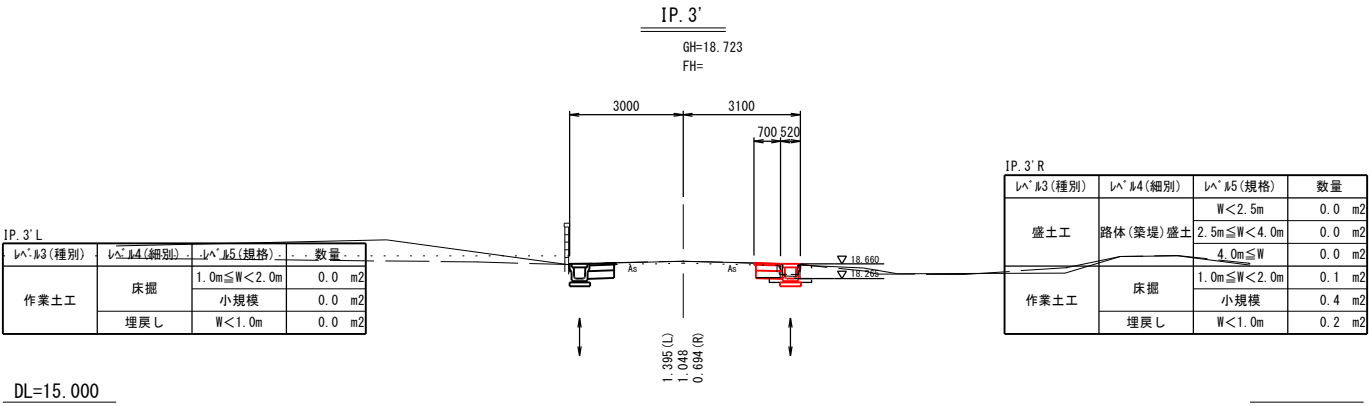
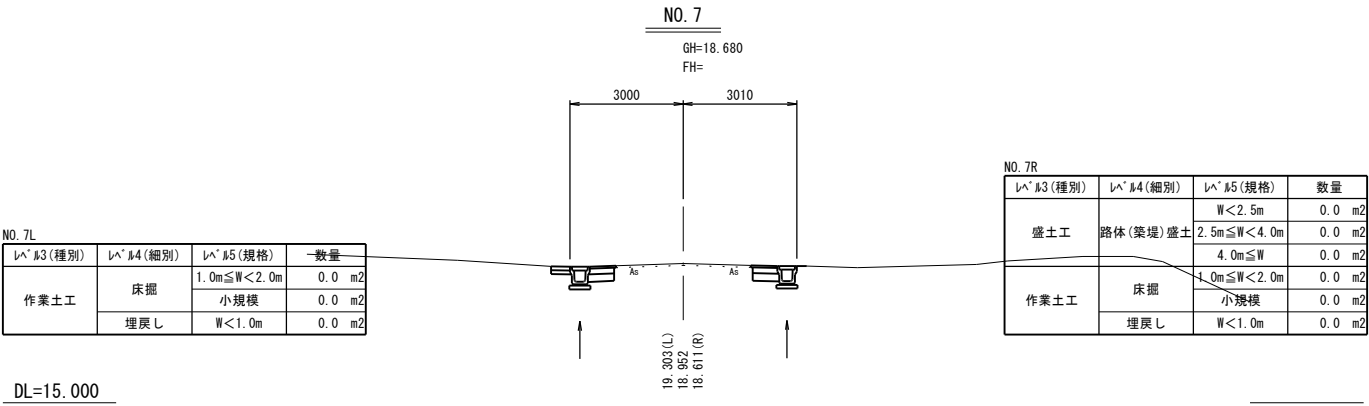
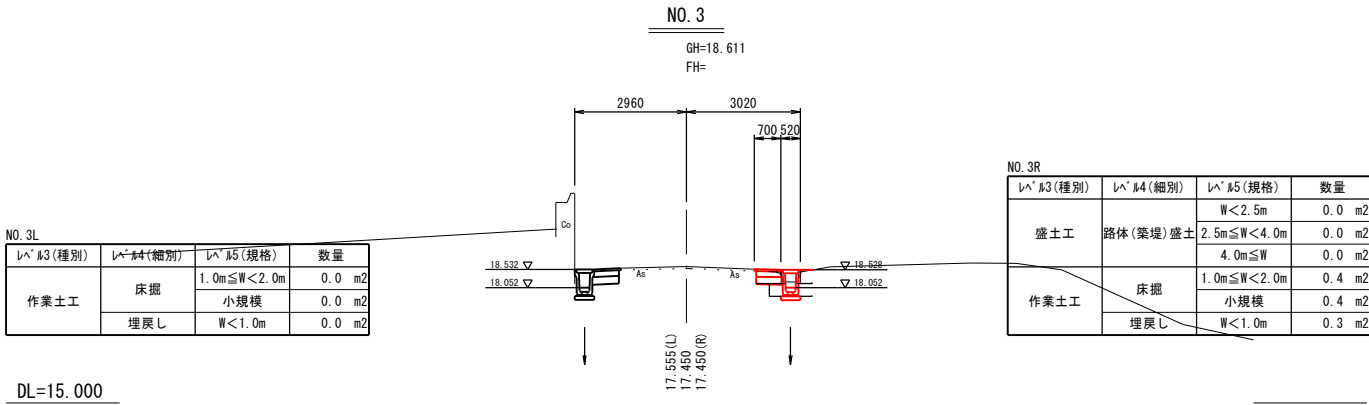
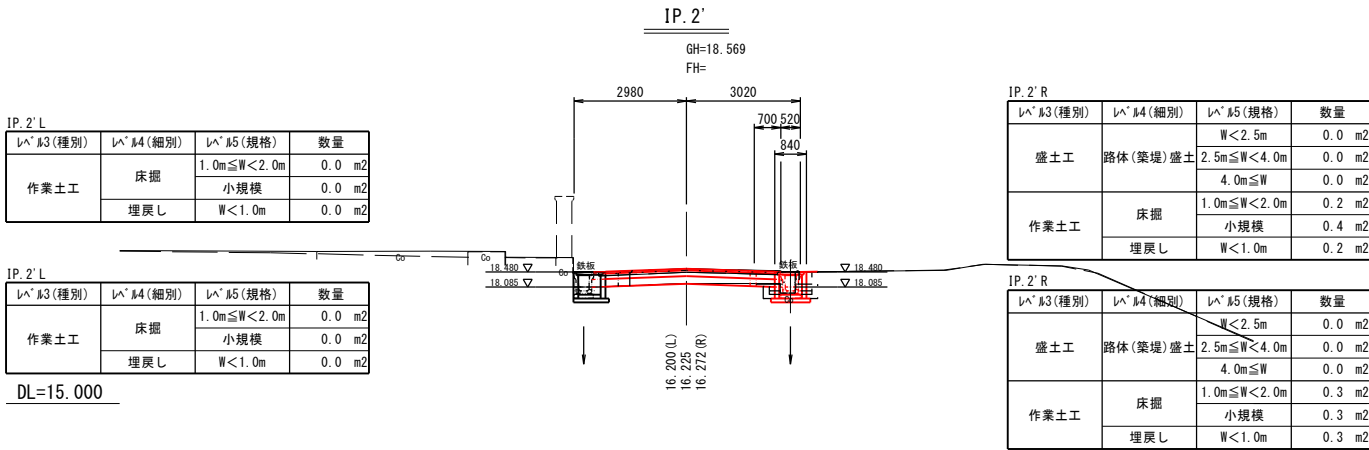
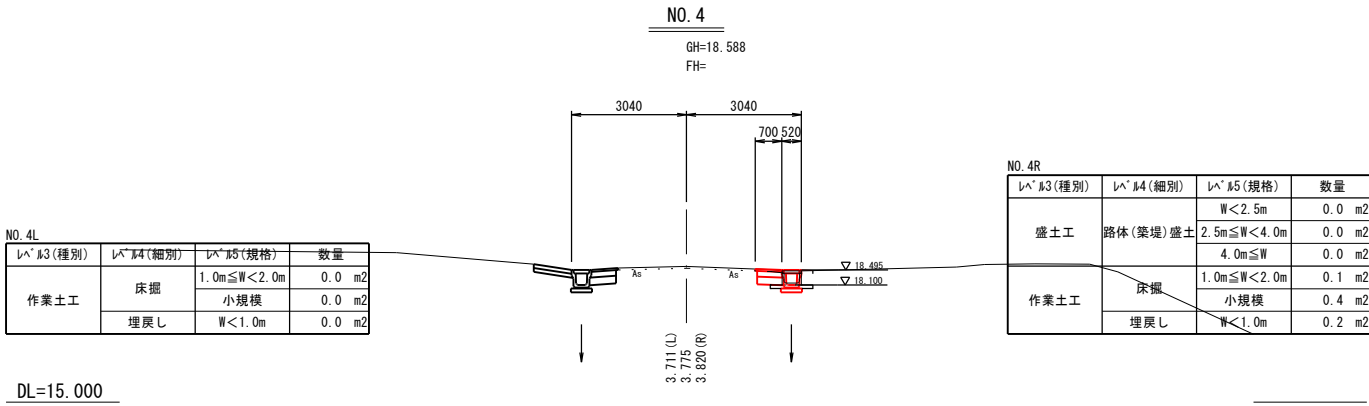
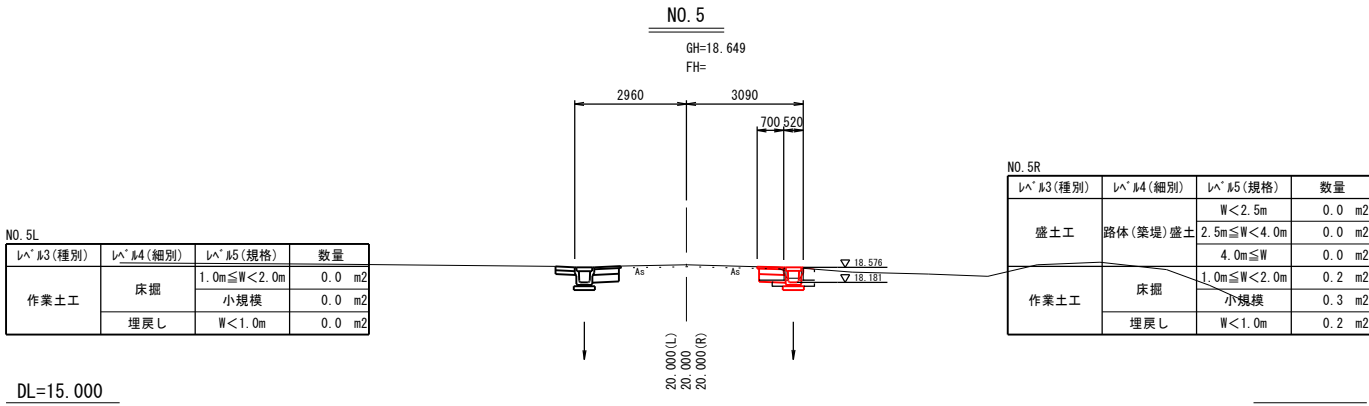


令和8年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（北新田地区2工区その3）工事			
標準横断図			
縮尺	S=1:50	図面番号	3/13
測量		主任技術者	
設計	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	管理技術者	鈴木 仁
南相馬市役所			



BP' (NO. 0) ~NO. 2+2. 55

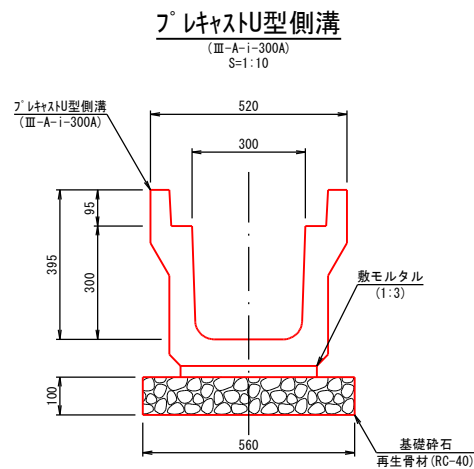
令和 8 年度 工事番号第2026000750号			
市道北新田4号線 南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (北新田地区2工区その3) 工事			
側溝横断面 (1/2)			
縮尺	S=1:100	図面番号	4/13
測量	(株) 大和田測量設計 3年 3月26日	主 任 技術者	猪狩 猛
設計	(株) 大和田測量設計 3年 3月26日	管 理 技術者	鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			



NO. 3~NO. 7

令和 8 年度 工事番号第2026000750号			
市道北新田4号線 南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (北新田地区2工区その3) 工事			
側溝横断面		(2/2)	
縮尺	S=1:100	図面番号	5/13
測量	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	主任技術者	猪狩 猛
設計	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	管理技術者	鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

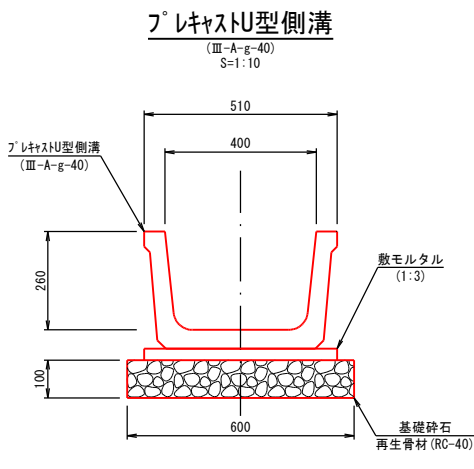
構造図(1)



プラスチックU型側溝(Ⅲ-A-i-300A)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (Ⅲ-A-i-300A)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.108
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	5.60

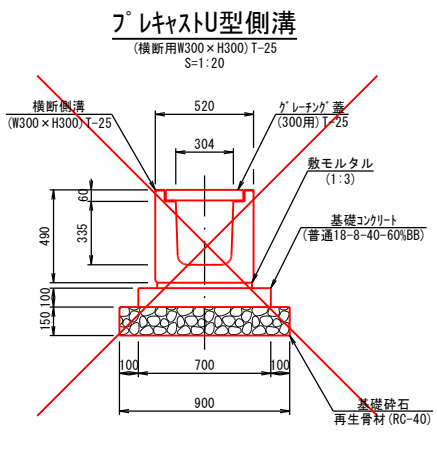
参考重量 W=419kg/2m



プラスチックU型側溝(Ⅲ-A-g-40)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (Ⅲ-A-g-40)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.150
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	6.00

参考重量 W=220kg/2m

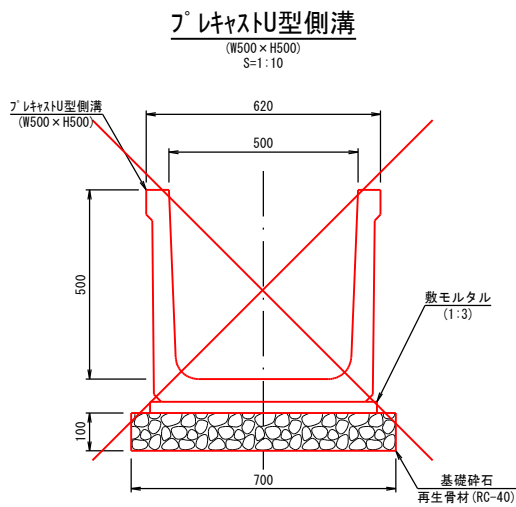


プラスチックU型側溝(横断用W300×H300)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
横断側溝 (W300×H300) T-25	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.150
基礎コンクリート (普通18-8-40-60%BB)	m ³	0.700
基礎コンクリート型枠	m ²	2.00
基礎砕石 t=15cm 再生骨材(RC-40)	m ²	9.00
グレーチング蓋 (300用) T-25	枚	10.0

参考重量 W=556kg/2m

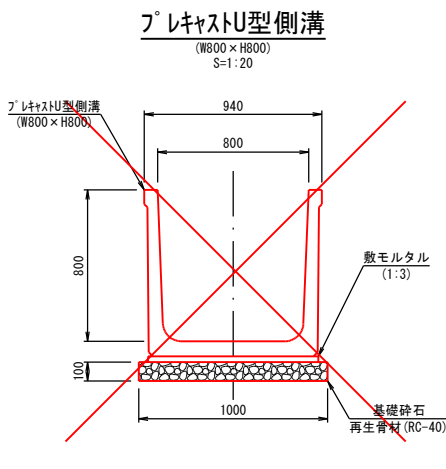
グレーチング蓋 参考重量 W=29.8kg/枚



プラスチックU型側溝(W500×H500)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (W500×H500)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.180
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	7.00

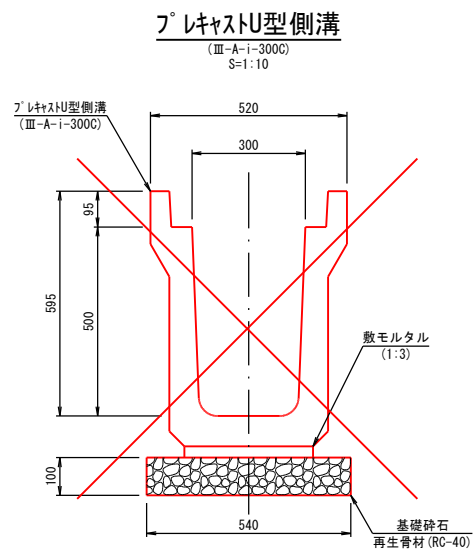
参考重量 W=425kg/2m



プラスチックU型側溝(W800×H800)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (W800×H800)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.270
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	10.00

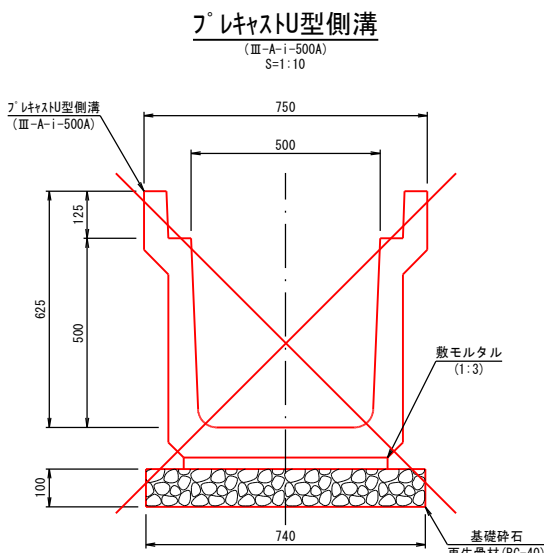
参考重量 W=885kg/2m



プラスチックU型側溝(Ⅲ-A-i-300C)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (Ⅲ-A-i-300C)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.102
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	5.40

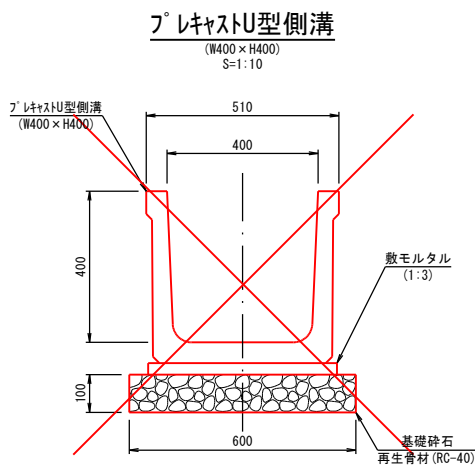
参考重量 W=585kg/2m



プラスチックU型側溝(Ⅲ-A-i-500A)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (Ⅲ-A-i-500A)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.162
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	7.40

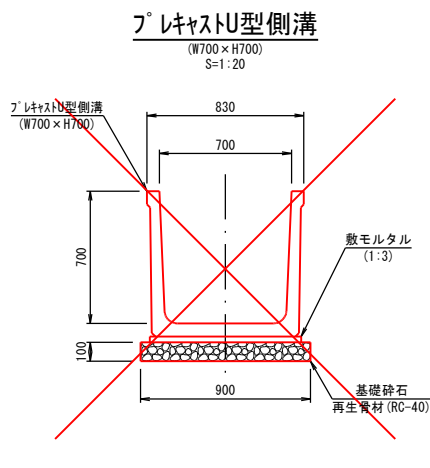
参考重量 W=700kg/2m



プラスチックU型側溝(W400×H400)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (W400×H400)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.150
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	6.00

参考重量 W=312kg/2m



プラスチックU型側溝(W700×H700)材料表 10.0m当り

名 称	単位	数 量
プラスチックU型側溝 (W700×H700)	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ³	0.240
基礎砕石 t=10cm 再生骨材(RC-40)	m ²	9.00

参考重量 W=683kg/2m

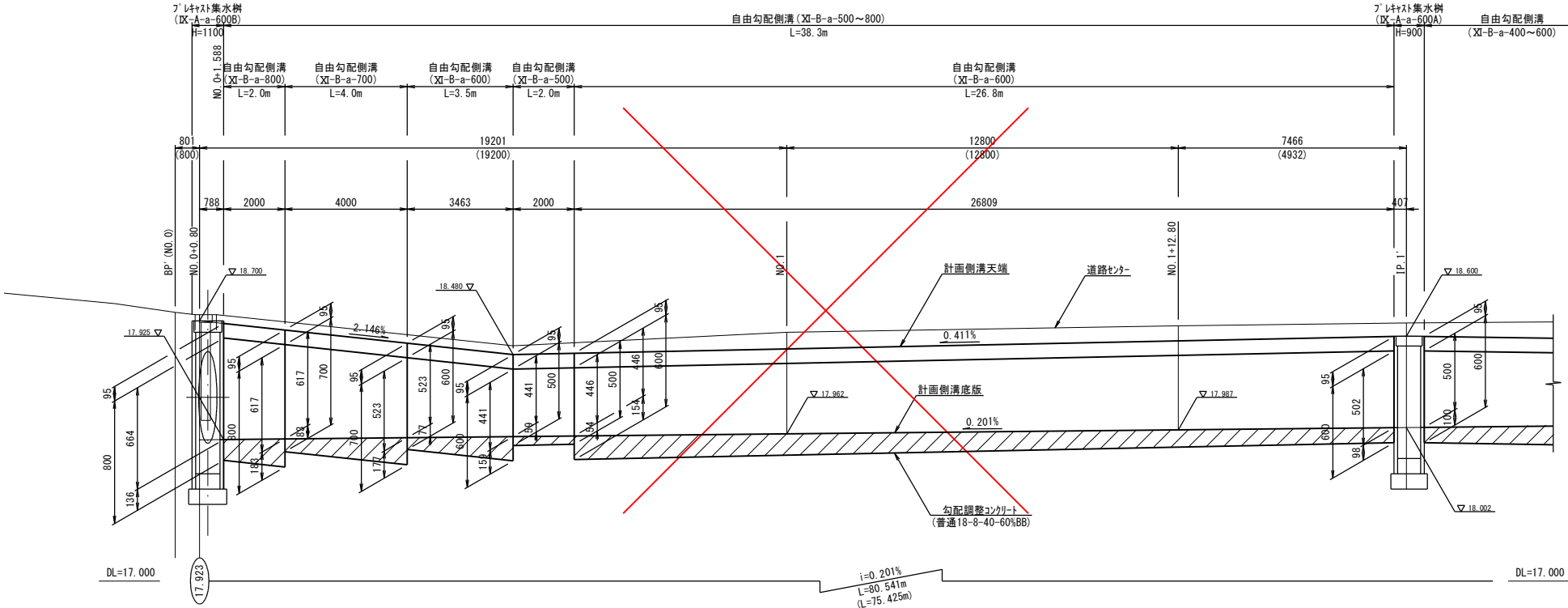
プラスチックU型側溝(Ⅲ-A-i-300A)
プラスチックU型側溝(Ⅲ-A-g-40)

令和8年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（北新田地区2工区その3）工事			
構 造 図 (1)			
縮尺	図 示	図面番号	6/13
測量		年 月 日	主 任 技 術 者
設計	(株)大和田測量設計	3年 3月26日	管 理 技 術 者 鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

構造図(2)

自由勾配側溝展開図(測点NO. 0+1.588~IP. 2' 右側)

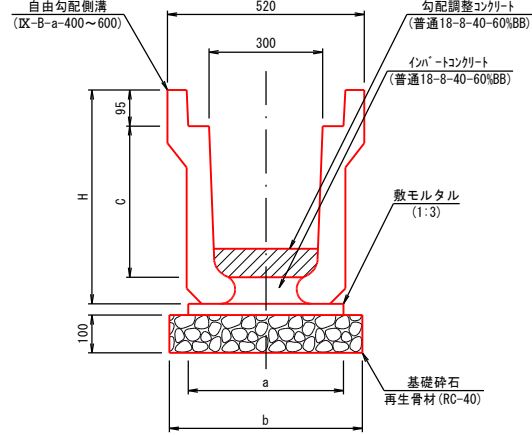
V=1:20
H=1:100



※ () 内寸法はセンター長を示す。

自由勾配側溝

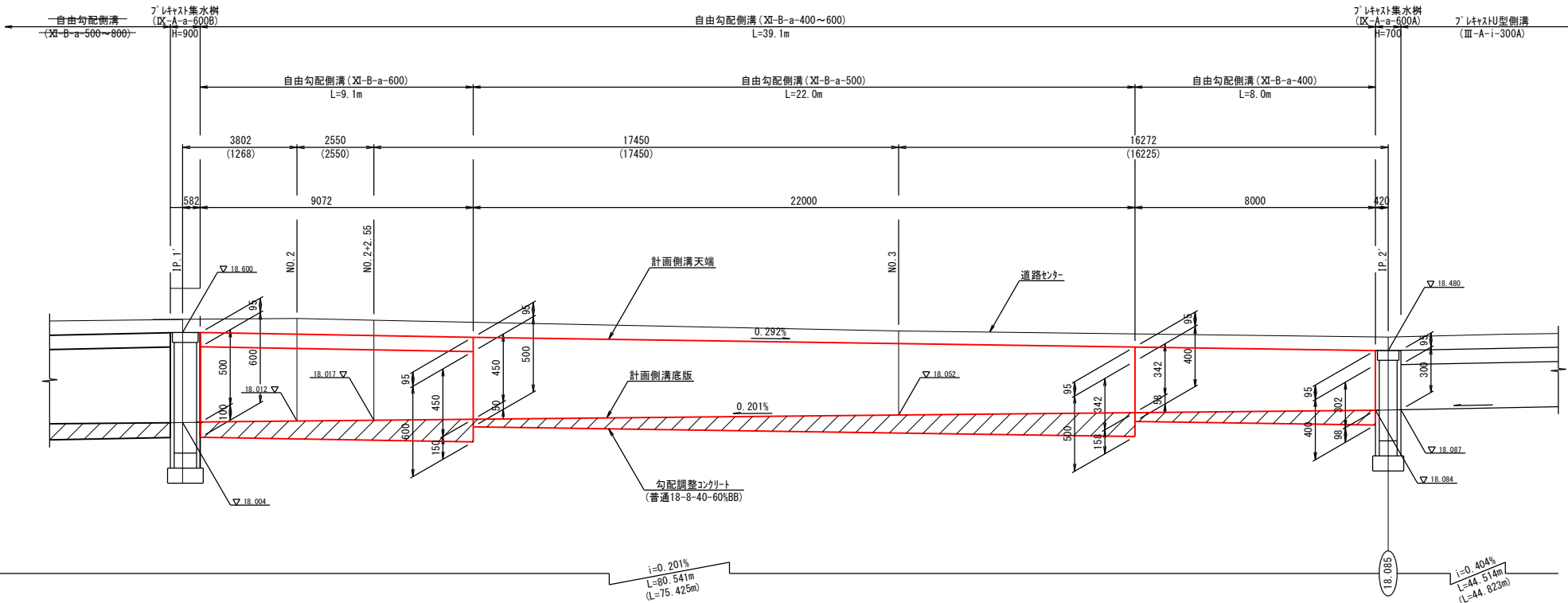
(XI-B-a-400~800)
S=1:10



自由勾配側溝 (XI-B-a-400~800) 寸法・材料表

記 号	寸法表 (mm)				側溝 1 個 (2m) 当り参考重量 (Kg)	個数 (本)	基礎材 (10m 当たり)		
	C	H	a	b			数 m ³ (1:3)	基礎砕石 t=10cm (m ²) 再生骨材 (RC-40)	インパ-トコンクリート (m ³) (普通18-8-40-60%BB)
自由勾配側溝 (XI-B-a-400)	400	565	410	510	435	5	0.123	5.10	0.075
自由勾配側溝 (XI-B-a-500)	500	675	420	520	547	5	0.126	5.20	0.080
自由勾配側溝 (XI-B-a-600)	600	775	420	520	606	5	0.126	5.20	0.080

※ 勾配調整コンクリートは、インパ-トコンクリートと同時に施工とする。



※ () 内寸法はセンター長を示す。

自由勾配側溝 (測点NO. 0+1.588~IP. 2' 右側) 1.0 式

自由勾配側溝 (XI-B-a-400)	L	= 8.0 m
自由勾配側溝 (XI-B-a-500)	L	= 22.0 m
自由勾配側溝 (XI-B-a-600)	L	= 9.1 m
勾配調整コンクリート (普通18-8-40-60%BB)	$V = [(0.100 + 0.150) \times 1/2 \times 9.072 + (0.050 + 0.158) \times 1/2 \times 22.000 + (0.058 + 0.098) \times 1/2 \times 8.000] \times 0.300$	
		= 1.21 m ³

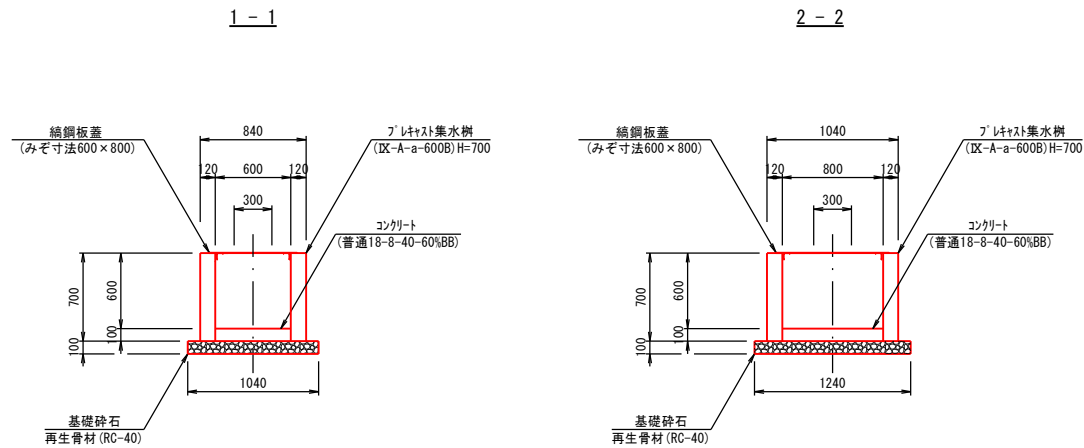
自由勾配側溝 (XI-B-a-400~800) 測点NO. 0+1.588~IP. 2' 右側

令和 8 年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (北新田地区2工区その3) 工事			
構 造 図 (2)			
縮尺	図 示	図面番号	7/13
測量	年 月 日	主 任 技 術 者	
設計	(株) 大和田測量設計 3年 3月26日	管 理 技 術 者	鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

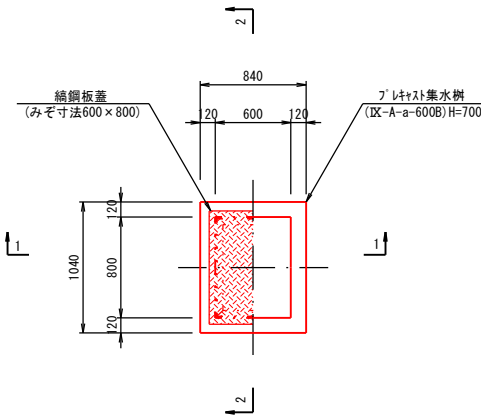
構造図(3)

ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹

(DX-A-a-600B)H=700
S=1:30



平面図

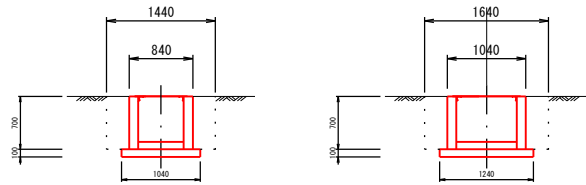


ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹 (DX-A-a-600B)H=700 1.0基当り			
名 称	単 位	数 量	
ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹 (DX-A-a-600B)H=700	個	1.0	
ｺﾝｸﾘｰﾄ (普通18-8-40-60%BB)	m3	0.05	
基礎碎石 t=10cm	m2	1.3	
再生骨材 (RC-40)	m2	1.3	
鋼鋼板 (みぞ寸法600×800)	枚	1.0	

ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹参考重量 W=424kg/個
鋼鋼板参考重量 W=32.7kg/枚

土工図

S=1:50



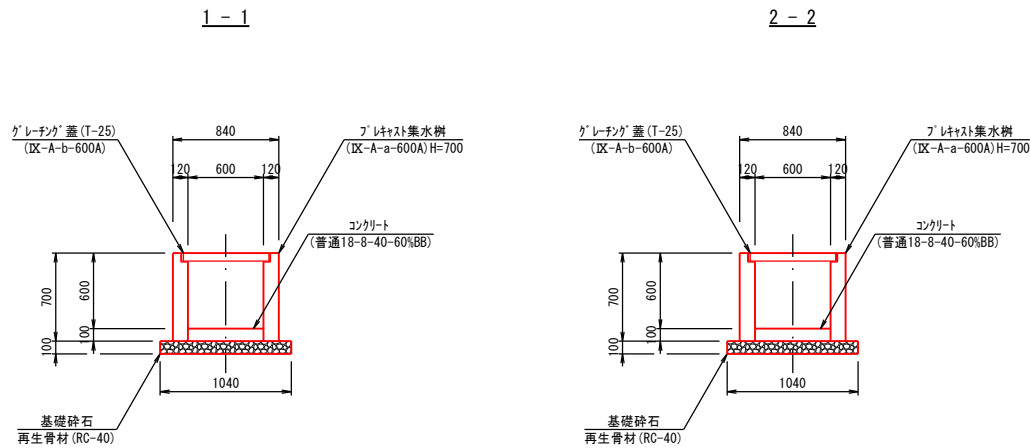
作業土工(1.0箇所当り)

床 掘 (小規模) $V=1.440 \times 1.640 \times 0.700 + 1.040 \times 1.240 \times 0.100 = 1.8 \text{ m}^3$

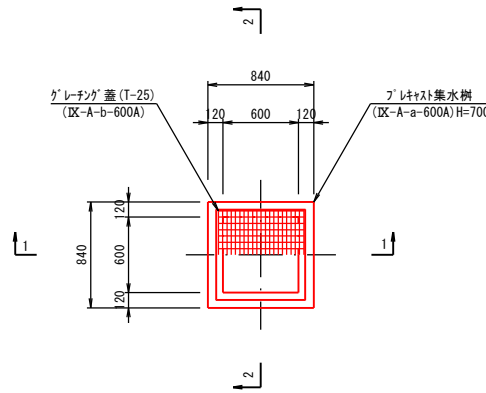
埋 戻 (小規模) $V=1.440 \times 1.640 \times 0.700 - 0.840 \times 1.040 \times 0.700 = 1.0 \text{ m}^3$

ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹

(DX-A-a-600A)H=700
S=1:30



平面図



ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹 (DX-A-a-600A)H=700 1.0基当り			
名 称	単 位	数 量	
ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹 (DX-A-a-600A)H=700	個	1.0	
ｺﾝｸﾘｰﾄ (普通18-8-40-60%BB)	m3	0.04	
基礎碎石 t=10cm	m2	1.1	
再生骨材 (RC-40)	m2	1.1	
ｸﾞﾚｰﾅｸﾞ 蓋 (T-25) (DX-A-b-600A)	枚	1.0	

ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹参考重量 W=381kg/個
ｸﾞﾚｰﾅｸﾞ 蓋 (T-25) 参考重量 W=46.9kg/枚

土工図

S=1:50

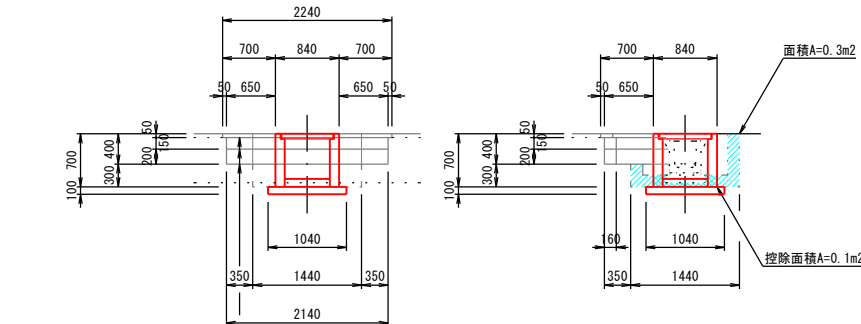


表 層 (再生密粒度As20) t=5cm	
上 層 路 盤 (粒鋼碎石 M-40) t=15cm	
下 層 路 盤 (切込碎石 C-40) t=20cm	

作業土工(1.0箇所当り)

床 掘 (小規模) $V=0.3 \times 1.440 + 1.040 \times 1.040 \times 0.100 - 0.160 \times 0.350 \times 2.140 = 0.7 \text{ m}^3$

埋 戻 (小規模) $V=0.3 \times 1.440 - 0.1 \times 0.840 = 0.3 \text{ m}^3$

ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹 (DX-A-a-600A)H=700
ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ集水樹 (DX-A-a-600B)H=700

令和8年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (北新田地区2工区その3) 工事			
構 造 図 (3)			
縮尺	図 示	図面番号	8/13
測量		年 月 日	主 任 技 術 者
設計	(株)大和田測量設計	3年 3月26日	管 理 技 術 者 鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

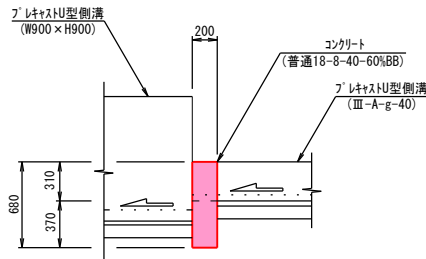
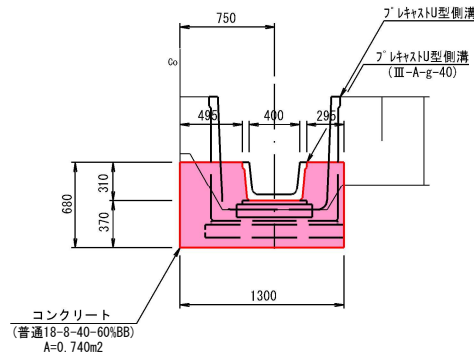
構造図(4)

小口止

S=1:30

断面図

側面図



作業土工 (1.0箇所当り)

床掘 (人力) $V=0.5 \times 0.500 = 0.3 \text{ m}^3$

埋戻 (人力) $V=0.3 \times 0.300 = 0.1 \text{ m}^3$

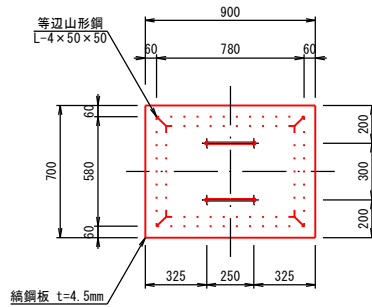
小口止 (1.0箇所当り)

コンクリート (普通18-8-40-60%BB) $V=0.740 \times 0.200 = 0.15 \text{ m}^3$

型枠 (小型構造物) $A=0.740 \times 2 \times 0.68 \times 0.20 = 1.6 \text{ m}^2$

綯鋼板蓋

みぞ寸法600×800
S=1:20



綯鋼板蓋 みぞ寸法600×800(1.0枚当り)

綯鋼板 (t=4.5mm) $W=0.70 \times 0.90 \times 36.99 \text{ kg/m}^2 = 23.3 \text{ kg}$

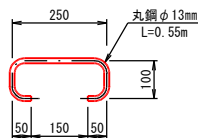
等辺山形鋼 (L=4×50×50) $W=(0.58+0.78) \times 2 \times 3.06 \text{ kg/m} = 8.3 \text{ kg}$

丸鋼 (φ13mm) $W=(0.25+0.10 \times 2+0.05 \times 2) \times 1.04 \text{ kg/m} \times 2 = 1.1 \text{ kg}$

全重量 $W=23.3+8.3+1.1 = 32.7 \text{ kg}$

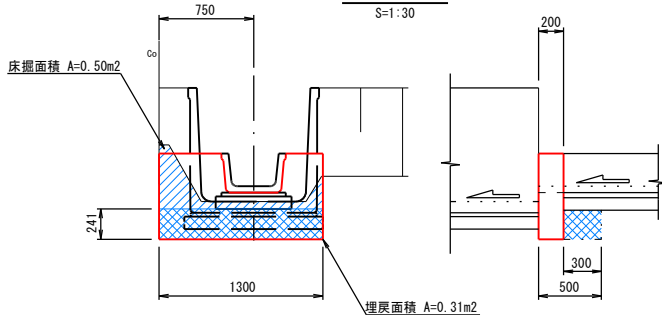
吊金具詳細図

(丸鋼φ13mm)
S=1:10



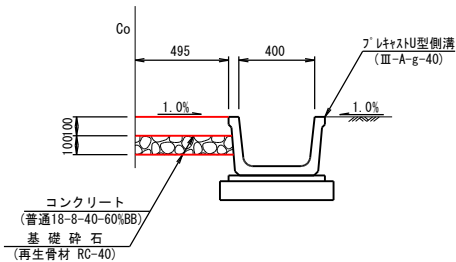
土工図

S=1:30



シールコンクリート

S=1:20



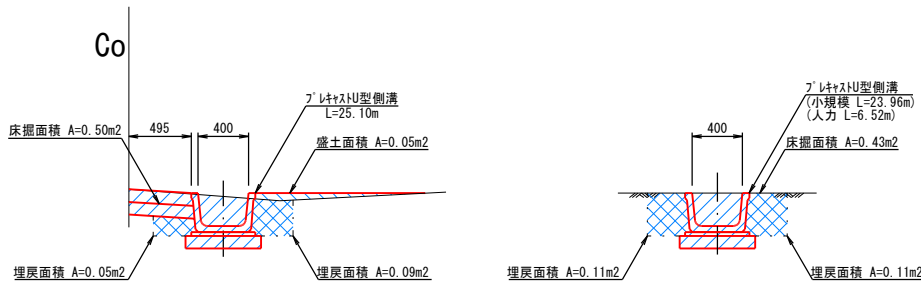
シールコンクリート (1.0m当り)

コンクリート (普通18-8-40-60%BB) $V=0.495 \times 0.100 \times 1.000 = 0.05 \text{ m}^3$

基礎砕石 (再生骨材 RC-40) $A=0.495 \times 1.000 = 0.5 \text{ m}^2$

プレキャスト側溝土工図

S=1:30



作業土工 (1.0式当り)

床掘 (小規模) $V=0.43 \times 23.96 = 10.3 \text{ m}^3$

埋戻 (小規模) $V=0.11 \times 2 \times 23.96 = 5.3 \text{ m}^3$

床掘 (現場制約あり) $V=0.43 \times 6.52+0.50 \times 25.10 = 15.4 \text{ m}^3$

埋戻 (現場制約あり) $V=0.11 \times 2 \times 6.52+(0.05+0.09) \times 25.10 = 4.9 \text{ m}^3$

盛土 (現場制約あり) $V=0.05 \times 25.1 = 1.3 \text{ m}^3$

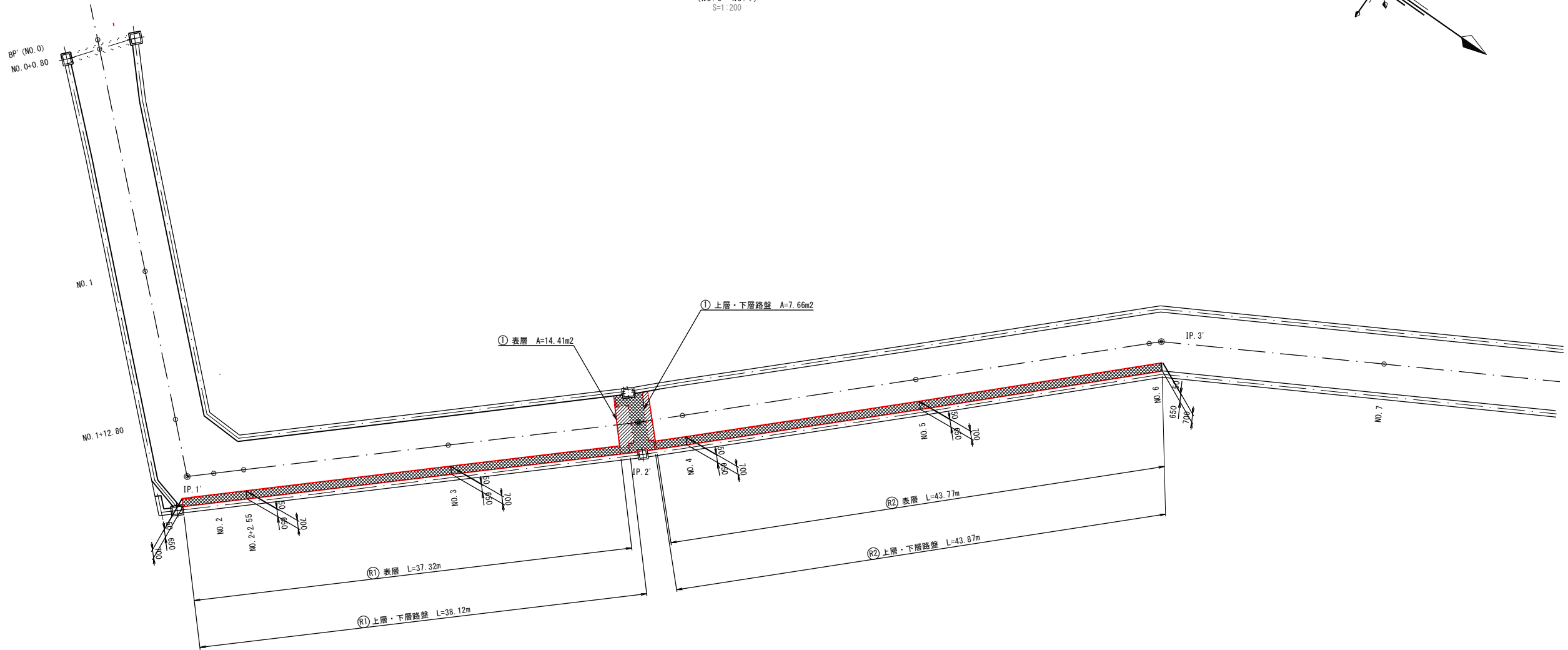
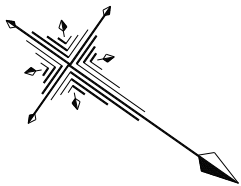
小口止
シールコンクリート
綯鋼板蓋

令和8年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（北新田地区2工区その3）工事			
構 造 図 (4)			
縮尺	図 示	図面番号	9/13
測量		年 月 日	主 任 技 術 者
設計	(株)大和田測量設計	3年 3月26日	管 理 技 術 者 鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

舗装展開図-1

市道北新田4号線舗装展開図

(NO. 0 ~ NO. 7)
S=1:200



標準部断面図

S=1:20

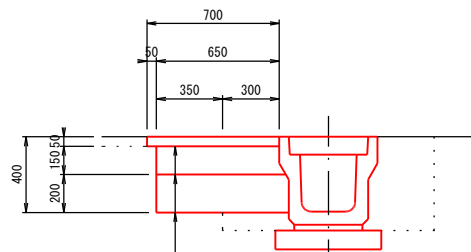


表 層 (再生密粒度As20) t=5cm
上 層 路 盤 (粒調砕石 M-40) t=15cm
下 層 路 盤 (切込砕石 C-40) t=20cm

市道北新田4号線 (NO. 0 ~ NO. 7)
表層 (再生密粒度As20) t=5cm

番号	算 式	面積 (m2)
①	CAD計測	14.41
①	0.700 × 37.32	26.12
②	0.700 × 43.77	30.64
合 計		71.17

市道北新田4号線 (NO. 0 ~ NO. 7)
上層路盤 (粒調砕石 M-40) t=15cm

番号	算 式	面積 (m2)
①	CAD計測	7.66
①	0.650 × 38.12	24.78
②	0.650 × 43.87	28.52
合 計		60.96

市道北新田4号線 (NO. 0 ~ NO. 7)
下層路盤 (切込砕石 C-40) t=20cm

番号	算 式	面積 (m2)
①	CAD計測	7.66
①	0.650 × 38.12	24.78
②	0.650 × 43.87	28.52
合 計		60.96

凡 例

- 表 層
上層・下層路盤

令和8年度 工事番号第2026000750号

南相馬市原町区北新田字本町 地内

浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (北新田地区2工区その3) 工事

舗装展開図

縮尺	図 示	図 面 番 号	10/13
測量	年 月 日	主 任 技 術 者	
設計	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	管 理 技 術 者	鈴木 仁

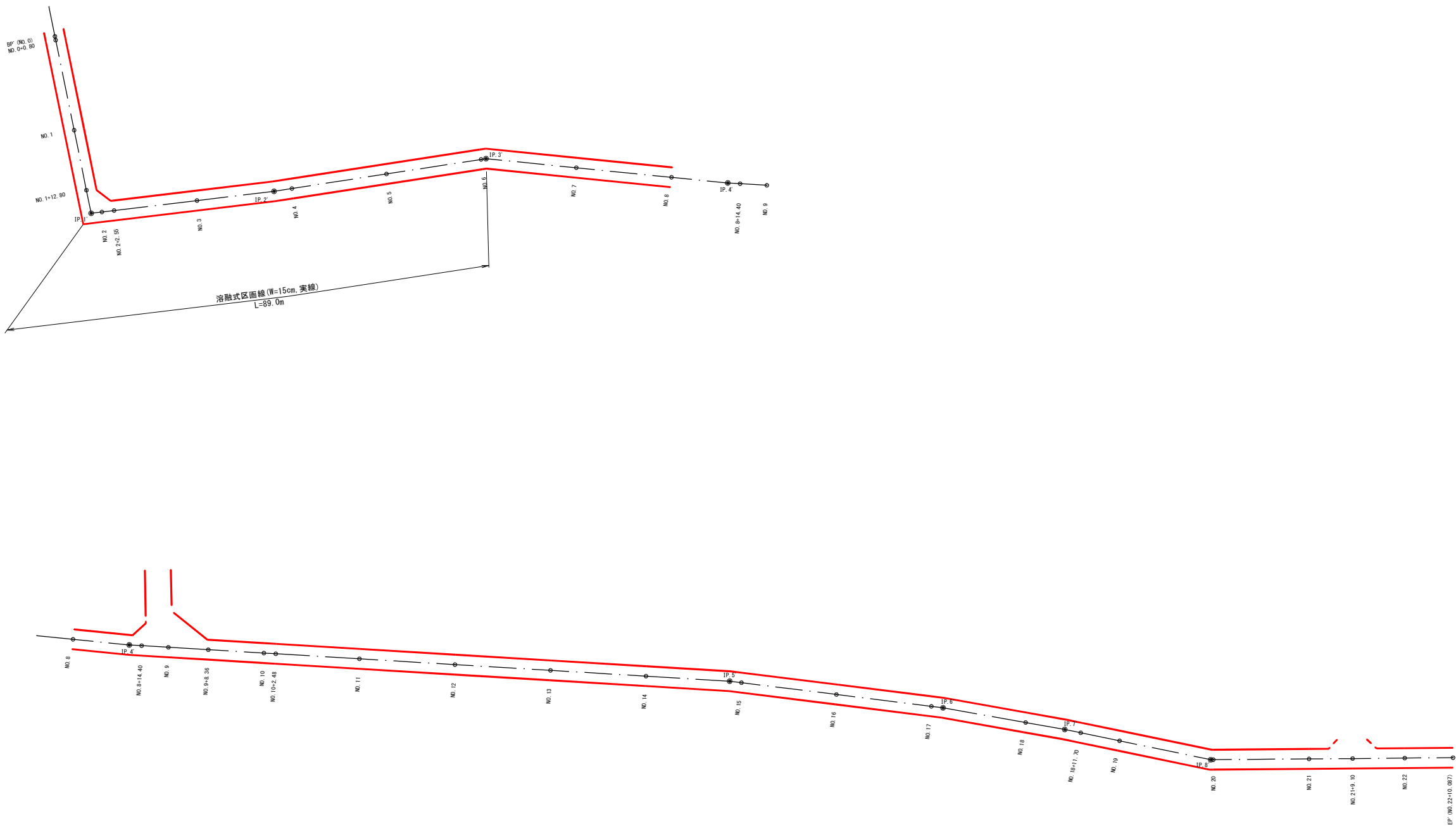
南 相 馬 市 役 所

路面表示図

S=1:500

市道北新田4号線路面表示図

(BP' ~ NO. 18)
S=1:500



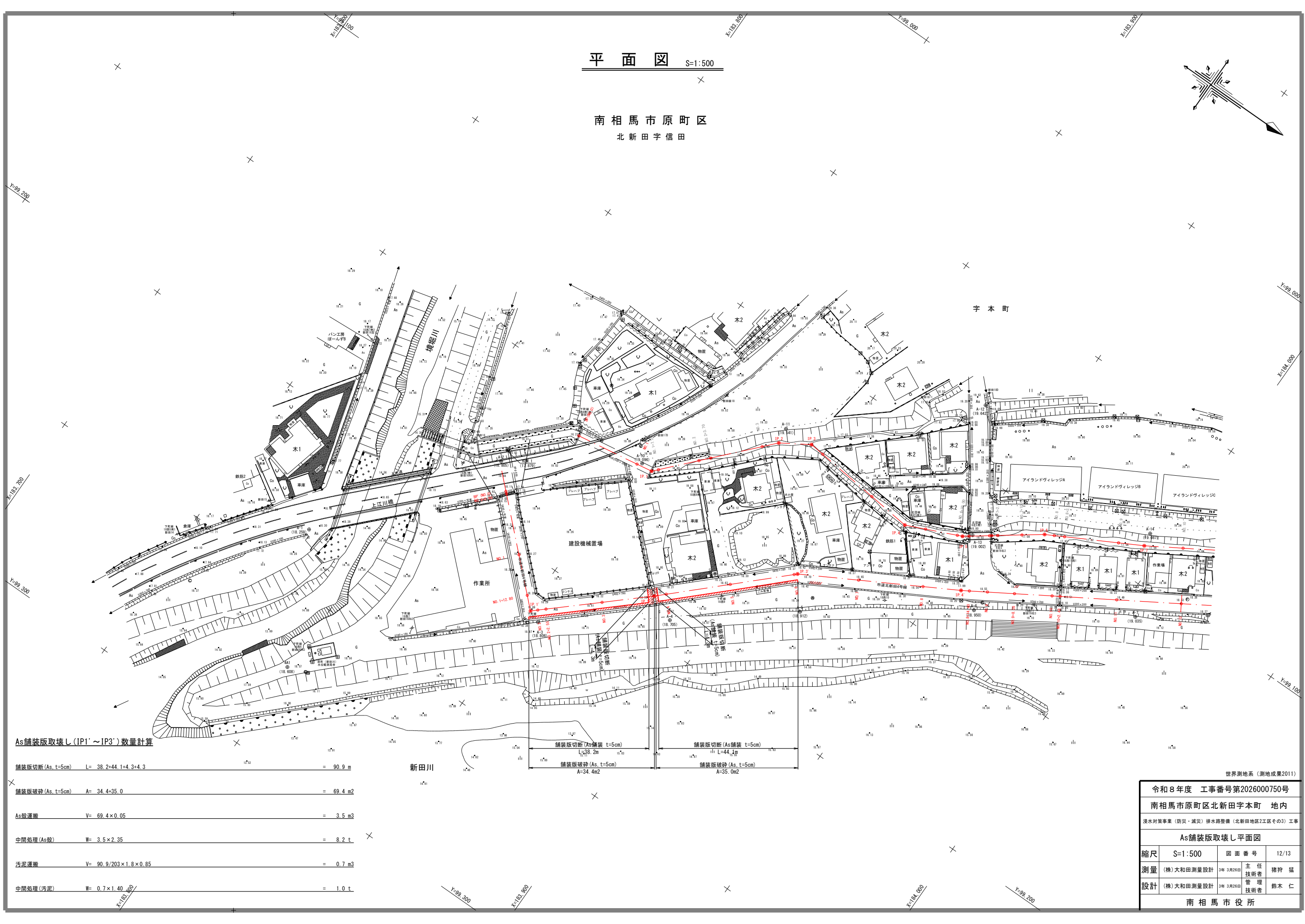
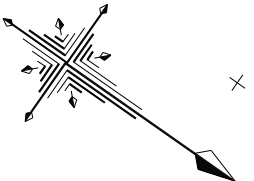
路面表示 数量計算

区画線 (溶融式, 白色, 実線, W=15cm) L = 89.0 m

令和 8 年度 工事番号第2026000750号			
南相馬市原町区北新田字本町 地内			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (北新田地区2工区その3) 工事			
路面表示図			
縮尺	S=1:500	図面番号	11/13
測量		年月日	主任技術者
設計	(株)大和田測量設計	3年 3月26日	管理技術者 鈴木 仁
南 相 馬 市 役 所			

平面図 S=1:500

南相馬市原町区
北新田字信田



As舗装版取壊し(IP1'～IP3')数量計算

舗装版切断(As, t=5cm) L= 38.2+44.1+4.3+4.3 = 90.9 m

舗装版破砕(As, t=5cm) A= 34.4+35.0 = 69.4 m²

As殺菌液 V= 69.4×0.05 = 3.5 m³

中間処理(As殺) W= 3.5×2.35 = 8.2 t

汚泥運搬 V= 90.9/203×1.8×0.85 = 0.7 m³

中間処理(汚泥) W= 0.7×1.40 = 1.0 t

世界測地系(測地成果2011)

令和8年度 工事番号第2026000750号

南相馬市原町区北新田字本町 地内

浸水対策事業(防災・減災)排水路整備(北新田地区2工区その3)工事

As舗装版取壊し平面図

縮尺	S=1:500	図面番号	12/13
測量	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	主任技術者	猪狩 猛
設計	(株)大和田測量設計 3年 3月26日	管理技術者	鈴木 仁

南相馬市役所

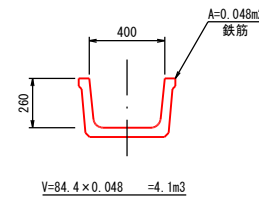
平面図 S=1:500

取壊し構造物延長(1/3)

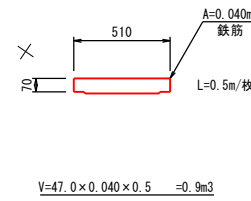
U型側溝取壊し(W400×H260)	L=	= 84.4 m
U型側溝取壊し(落蓋型W300×H300)	L=	= 4.8 m
側溝蓋取壊し(VI-C-a-40)	N= 38.0+9.0	= 47.0 枚
コンクリート構造物取壊し	V= 4.1+0.9+0.6	= 5.6 m ³
コンクリート搬送機	V=	= 5.6 m ³
コンクリート搬分	W= 5.6×2.50t/m ³	= 14.0 t

南相馬市原町区
北新田字信田

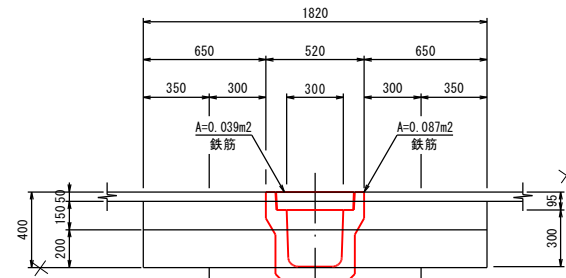
U型側溝取壊し
(W400×H260)
S=1:20



側溝蓋取壊し
(BF400用)
S=1:20

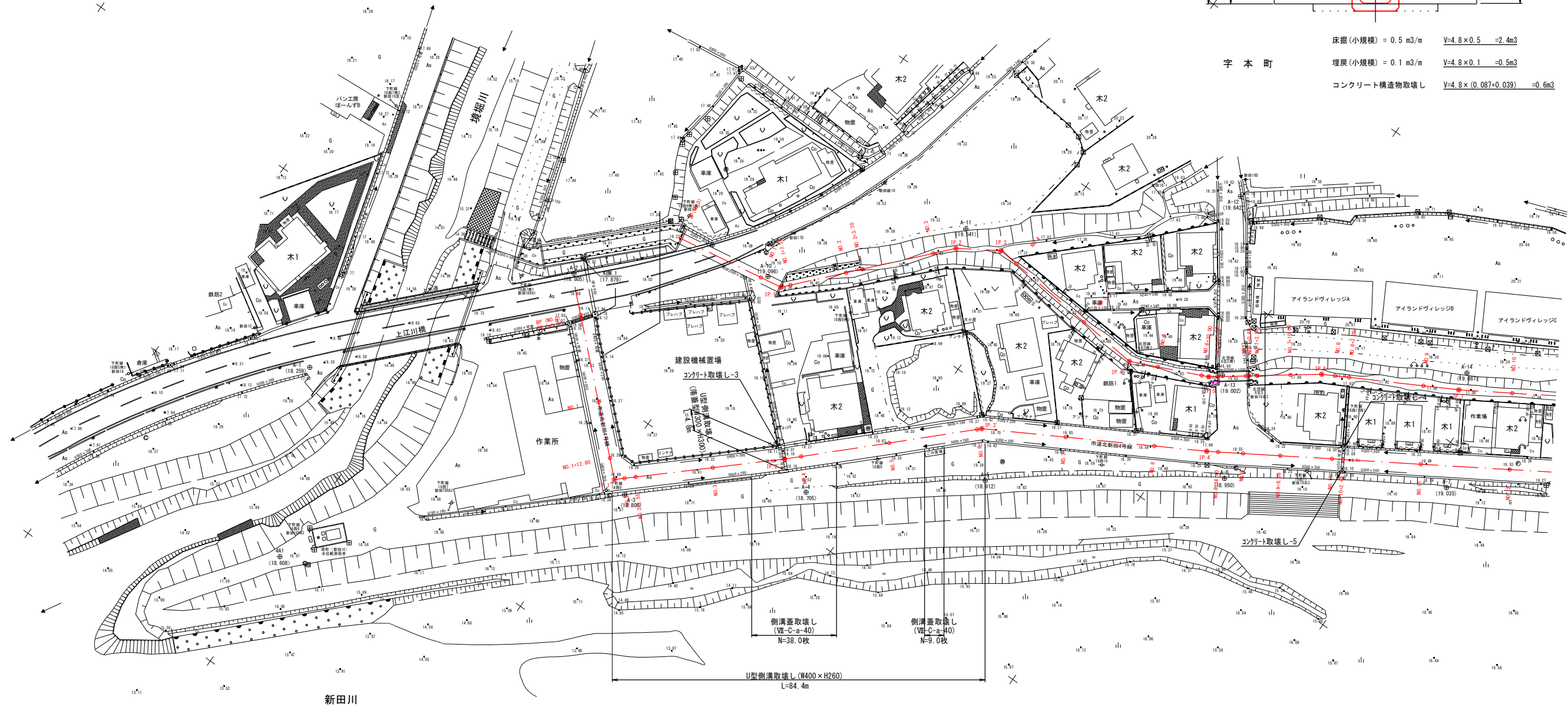


U型側溝取壊し
(落蓋型W300×H300)
S=1:20



床掘(小規模) = 0.5 m³/m V=4.8×0.5 =2.4m³
埋戻(小規模) = 0.1 m³/m V=4.8×0.1 =0.5m³
コンクリート構造物取壊し V=4.8×(0.087+0.039) =0.6m³

字本町



新田川

世界測地系(測地成果2011)

令和8年度 工事番号第2026000750号

南相馬市原町区北新田字本町 地内

浸水対策事業(防災・減災)排水路整備(北新田地区2区その3)工事

構造物取壊し平面図

縮尺 S=1:500 図面番号 13/13

測量 (株)大和田測量設計 3年 3月26日 主 任 猪狩 猛

設計 (株)大和田測量設計 3年 3月26日 管 理 鈴木 仁

南相馬市役所